

令和3年度

事業報告書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

学校法人 松本学園

目 次

1. 法人の概要 2

- (1) 建学の精神、教育理念・目的、教育目標
- (2) 法人の沿革
- (3) 設置する学校・学部・学科等
- (4) 設置する学校・学部・学科等の収容定員
- (5) 設置する学校・学部・学科等の入学者（入園児）数等
- (6) 設置する学校・学部・学科等の在学者（在園児）数
- (7) 設置する学校・学部・学科の卒業（修了）者（卒園児）数
- (8) 役員の概要
- (9) 評議員の概要
- (10) 教職員の概要
- (11) 施設等の状況
- (12) その他

2. 事業の概要 8

- (1) 学校法人松本学園 事業の概要
- (2) 松本看護大学 事業の概要
- (3) 松本短期大学 事業の概要
- (4) 松本短大幼稚園 事業の概要

3. 財務の概要 34

- (1) 収支の状況
- (2) 主な財務比率について
- (3) 主な施設・設備の整備状況

- 別紙 1 学校法人松本学園 役員・評議員名簿
- 別紙 2 松本看護大学・松本短期大学 令和3年度 専任教職員 名簿
- 別紙 3 松本看護大学・松本短期大学 令和3年度 非常勤教員 名簿
- 別紙 4 松本看護大学・松本短期大学 令和3年度 進路状況
- 別紙 5 松本看護大学・松本短期大学 令和3年度入学試験 入試状況一覧表
- 別紙 6 松本看護大学・松本短期大学 令和3年度 年間行事予定表
- 別紙 7 松本短大幼稚園 令和3年度 専任教職員 名簿
- 別紙 8 松本短大幼稚園 令和3年度 年間計画表
- 別紙 9 過去5年間の収支の推移
- 別紙 10 財務比率比較表

令和3年度 学校法人松本学園 事業報告書

1. 法人の概要

(1) 建学の精神、教育理念・目的、教育目標

建学の精神及び松本看護大学・松本短期大学の教育理念、松本短大幼稚園の教育目標は以下のとおりです。

－建学の精神－

人々の健康と福祉及び教育における学術の教育研究の府として、信濃の国の教育風土に培われた教育への良心と見識をもって、ひとと交わり、ひとを育て、ひとに誠意を尽くす人間性の涵養と、自立した専門職業人(ケアスペシャリスト)の育成を行い、ひいては地域の人々に貢献する。

－松本看護大学 教育理念、目的－

松本看護大学は、教育基本法ならびに学校教育法に基づき、医療保健福祉において、深く専門の学芸を研究教授し、豊かな教養と専門学術および職業に必要な能力を修得させ、学生が自らの人格を培うことを援助する。更に、地域社会における医療保健福祉の向上に貢献する人材を育成するとともに看護学の発展に寄与することを教育の理念・目的とする。

－松本短期大学 教育理念－

松本短期大学は建学の精神を受けて、幼児保育学科、介護福祉学科、専攻科福祉専攻、看護学科を設置し、地域の人々の保健医療福祉と教育に関する現実の多様なニーズに応えることのできる保育士及び幼稚園教諭、介護福祉士、看護師のケアスペシャリストの養成教育を行う。

- ・保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士・看護師として、「命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」の育成
- ・地域の保健医療福祉及び教育に貢献できる人材の育成

－松本短大幼稚園 教育目標－

やさしく・つよく・すこやかに

(2) 法人の沿革

| | |
|----------|----------------------------|
| 昭和45年12月 | 学校法人松本学園 設立認可(長野県知事) |
| | 松本保育専門学校 設置認可 |
| 昭和46年4月 | 松本保育専門学校 開校 |
| | 初代理事長に上条憲太郎(元長野県教育長)就任 |
| | 初代学長に横内秀雄(元長野県教育長)就任 |
| 昭和47年1月 | 学校法人松本学園 組織変更認可(文部大臣) |
| | 松本短期大学 幼児教育学科 設置認可 |
| 昭和47年4月 | 松本短期大学 開学(文部大臣) |
| | 松本短期大学 幼児教育学科 開設 [入学定員50名] |
| 昭和49年8月 | 松本短大幼稚園 設置認可 開園 |
| | 初代園長に片山光義(前学園常任理事)就任 |
| 昭和52年4月 | 第2代理事長に片山光義(松本短大幼稚園園長)就任 |

| | |
|-----------|---|
| | 第2代学長に上条侑男（前信州大学教授）就任 |
| 昭和63年 4月 | 第3代学長に丸山求（前学園副学長）就任 |
| 平成 3年 11月 | 第4代学長に小山光男（前本学教授）就任 |
| 平成 4年 12月 | 松本短期大学 介護福祉学科 設置認可（文部大臣） |
| 平成 5年 3月 | 介護福祉士養成施設 指定認可（厚生大臣） |
| 平成 5年 4月 | 松本短期大学 介護福祉学科 開設 [入学定員 80名] |
| 平成 7年 4月 | 松本短期大学 専攻科福祉専攻 開設 [入学定員 20名] |
| 平成 7年 8月 | 第2代園長に片山司（学園理事長職務代理）就任 |
| 平成 8年 4月 | 松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 100名に変更] |
| 平成 9年 3月 | 第3代理事長に片山司（松本短大幼稚園園長）就任 |
| 平成10年 4月 | 第5代学長に山崎健治（介護福祉学科学科長・教授）就任 |
| 平成16年 4月 | 松本短期大学 幼児教育学科を幼児保育学科へ学科名称変更 |
| | 松本短期大学 幼児保育学科 [入学定員 80名に変更] |
| 平成17年 12月 | 松本短期大学 看護学科 設置認可（文部科学大臣） |
| | 看護師学校 指定認可（文部科学省高等教育局長） |
| 平成18年 4月 | 松本短期大学 看護学科 開設 [入学定員 60名] |
| | 第6代学長に村山忍三（介護福祉学科学科長・教授）就任 |
| 平成20年 4月 | 松本短期大学 幼児保育学科 [入学定員 100名に変更] |
| | 松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 80名に変更] |
| | 第7代学長に山崎健治（本学前学長・教授）就任 |
| 平成23年 4月 | 第4代理事長に銭坂久紀（前学園理事長代行）就任 |
| | 第3代園長に銭坂久紀（前学園理事長代行）就任 |
| 平成24年 4月 | 第8代学長に塚田昌滋（元市立岡谷病院院長）就任 |
| 平成26年 4月 | 松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 65名に変更] |
| | 松本短期大学 看護学科 [入学定員 70名に変更] |
| 平成28年 4月 | 第9代学長に木内義勝（元松本大学松商短期大学部学部長）就任 |
| 平成30年 4月 | 松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 50名に変更] |
| 平成31年 4月 | 松本短期大学 介護福祉学科 [入学定員 40名に変更] |
| ” | 松本短大幼稚園 施設型給付幼稚園へ移行 |
| 令和2年 4月 | 松本短大幼稚園 認定こども園へ移行 [利用定員：1号 75名,2号 45名,3号 33名] |
| 令和2年 10月 | 松本看護大学 設置認可（文部科学大臣） [入学定員 70名] |
| 令和2年 12月 | 保健師学校、看護師学校 指定認可（文部科学省高等教育局長） |
| 令和3年 3月 | 松本短期大学 専攻科福祉専攻 廃止 |
| 令和3年 4月 | 松本看護大学 開学 |
| ” | 松本看護大学 看護学部 看護学科 開設（入学定員 70名） |
| ” | 松本看護大学 初代学長に上條節子（元松本短期大学教授）就任 |

(3) 設置する学校・学部・学科等

| 設置する学校 | 開校年月 | 設置する学部・学科等 |
|--------|----------|---------------------|
| 松本看護大学 | 令和 3年 4月 | 看護学部 看護学科 [令和3年度開設] |

| | | |
|---------|---------|---|
| 松本短期大学 | 昭和47年4月 | 幼児保育学科 [昭和47年度開設] 介護福祉学科 [平成5年度開設] 看護学科 [平成18年度開設] . . . 令和3年4月募集停止 |
| 松本短大幼稚園 | 昭和49年8月 | 令和2年4月 認定こども園へ移行 |

(4) 設置する学校・学部・学科等の収容定員 (人)

| 学校名 | 学部等 | 入学定員 | 収容定員 | 備考 |
|---------|--------|------|------|------------|
| 松本看護大学 | 看護学部 | 70 | 70 | 令和3年4月開設 |
| | 合計 | 70 | 70 | |
| 学校名 | 学科等 | 入学定員 | 収容定員 | 備考 |
| 松本短期大学 | 幼児保育学科 | 100 | 200 | |
| | 介護福祉学科 | 40 | 80 | |
| | 看護学科 | — | 140 | 令和3年4月募集停止 |
| | 合計 | 140 | 420 | |
| 学校名 | | 入園定員 | 収容定員 | 備考 |
| 松本短大幼稚園 | | 60 | 200 | 利用定員153 |

(5) 設置する学校・学部・学科等の入学者(入園児)数等(令和3年4月入学者) (人)

| 学校名 | 学部 | 入学者数 | 備考 |
|---------|--------|------|---------------------------------|
| 松本看護大学 | 看護学部 | 79 | |
| | 合計 | 79 | |
| 学校名 | 学科等 | 入学者数 | 備考 |
| 松本短期大学 | 幼児保育学科 | 99 | |
| | 介護福祉学科 | 34 | |
| | 看護学科 | — | |
| | 合計 | 133 | |
| 学校名 | | 入園者数 | 備考 |
| 松本短大幼稚園 | | 36 | 0歳児：0、1歳児：11、2歳児：4、3歳児：21、4歳児：0 |

(6) 設置する学校・学部・学科等の在学者(在園児)数(令和3年5月現在) (人)

| 学校名 | 学部学科等 | 在学者数 | | | | | | | 合計 |
|--------|--------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----|
| | | R03 入学生 | | | | | | | |
| 松本看護大学 | 看護学部 | 79 | - | - | - | - | - | - | 79 |
| | 合計 | 79 | - | - | - | - | - | - | 79 |
| 学校名 | 学科等 | 在学者数 | | | | | | | 合計 |
| | | R03 入学生 | R02 入学生 | R01 入学生 | H30 入学生 | H29 入学生 | H28 入学生 | H27 入学生 | |
| 松本短期大学 | 幼児保育学科 | 99 | 95 | - | - | - | - | - | 194 |
| | 介護福祉学科 | 34 | 26 | - | - | - | - | - | 60 |

| | | | | | | | | | |
|---------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | 看護学科 | - | 58 | 58 | 10 | 1 | - | - | 127 |
| | 合計 | 133 | 179 | 58 | 10 | 1 | - | - | 381 |
| 学校名 | 在園児数 | | | | | | | | |
| | 0歳児 | 1歳児 | 2歳児 | 満3歳 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 | 合計 | |
| 松本短大幼稚園 | 0 | 16 | 17 | 1 | 39 | 43 | 30 | 146 | |

(7) 設置する学校・学部・学科の卒業生(卒園児)数、学位授与数(令和4年3月卒業生) (人)

| 学校名 | 学科等 | 卒業(修了)者数 | 学位授与数 | 備考 |
|---------|--------|----------|-------|----|
| 松本看護大学 | 看護学部 | - | - | |
| | 合計 | - | - | |
| 学校名 | 学科等 | 卒業(修了)者数 | 学位授与数 | 備考 |
| 松本短期大学 | 幼児保育学科 | 94 | 94 | |
| | 介護福祉学科 | 26 | 26 | |
| | 看護学科 | 55 | 55 | |
| | 合計 | 175 | 175 | |
| 学校名 | 卒園児数 | | 備考 | |
| 松本短大幼稚園 | 30 | | | |

(8) 役員の概要

1) 役員

別紙1 参照

2) 役員の状況

特記事項なし

3) 退任された役員

| 区分 | 氏名 | 常勤・非常勤の別 | 選任条項 | 備考 |
|----|-------|----------|-------|-------------|
| 理事 | 百瀬 常雄 | 非常勤 | 6-1-2 | 令和3年5月 理事退任 |
| 理事 | 赤羽 郁夫 | 非常勤 | 6-1-2 | 令和3年5月 理事退任 |
| 理事 | 坪田 明男 | 非常勤 | 6-1-3 | 令和3年5月 理事退任 |

4) 理事会の開催状況

| 年月日 | 主な議題 | 備考 |
|------------|----------------------|----|
| 令和3年05月26日 | 令和2年度決算・事業報告についてほか | |
| 令和3年08月23日 | 松本看護大学カリキュラム変更についてほか | |
| 令和3年11月26日 | 松本短大幼稚園の利用定員変更についてほか | |
| 令和3年12月24日 | 松本短期大学 学長の選任についてほか | |
| 令和4年03月25日 | 令和3年度補正予算(案)についてほか | |

(9) 評議員の概要

1) 評議員

別紙1 参照

2) 評議員の状況

特記事項なし

3) 退任された評議員

| 区分 | 氏名 | 常勤・非常勤の別 | 選任条項 | 備考 |
|-----|-------|----------|--------|-------------|
| 評議員 | 百瀬 常雄 | 非常勤 | 21-1-3 | 令和3年5月 理事退任 |
| 評議員 | 赤羽 郁夫 | 非常勤 | 21-1-3 | 令和3年5月 理事退任 |
| 評議員 | 坪田 明男 | 非常勤 | 21-1-3 | 令和3年5月 理事退任 |

4) 評議員会の開催状況

| 年月日 | 主な議題 | 備考 |
|------------|--------------------|----|
| 令和3年05月26日 | 令和2年度決算・事業報告についてほか | |
| 令和4年03月25日 | 令和3年度補正予算(案)についてほか | |

(10) 教職員の概要

1) 教員数

別紙2、3、7 参照

2) 専任教員の状況

松本看護大学では、開学に伴い令和3年4月1日付けにて、上條節子学長(教授)、金子潔子教授、三輪憲永教授、百瀬ちどり教授、原岡智子教授、藤川君江教授、鮎川昌代教授、関永信子准教授、横山芳子准教授、荻久保弘子助手の10名を、令和3年10月1日付で里見明子助手の1名を新規採用しました。また、法人内異動にて小林たつ子副学長(学部長・教授)、今井栄子教授、小林由美教授、高下梓講師の4名を配置しました。

松本短期大学では、教員の退職などに伴い令和3年4月1日付けにて、鈴木美枝子教授(幼児保育学科)、山田裕一助教(幼児保育学科)、永石喜代子教授(介護福祉学科)の3名を新規採用しました。なお、令和3年度末までの退職者は3名です。

松本短大幼稚園は、認定こども園化に伴い令和3年4月1日付けにて、宮澤りお(保育教諭)、樋口由佳代(保育教諭)の2名を新規採用しました。

3) 職員数

別紙2、3、7 参照

4) 専任職員の状況

松本看護大学・松本短期大学では、職員の退職に伴い令和3年10月に1名の専任職員を新規採用しました。

(11) 施設等の状況

1) 現有施設設備の所在地

主な施設等の状況は下表のとおりです。

| 所在地 | 施設等 | 面積等 | 帳簿価格 | 摘要 |
|-----------------------------|-----|--------------------------|--------------|---------|
| 長野県松本市笹賀 (松本看護大学・松本短期大学) | 校地他 | 17,738.57 m ² | 70,200 千円 | 駐車場用地含む |
| | 校舎 | 114,65.94 m ² | 1,242,164 千円 | 延べ面積 |
| 長野県松本市寿台 (松本短大幼稚園) | 校地 | 5,381.00 m ² | 70,099 千円 | |
| | 園舎 | 1,133.06 m ² | 268,568 千円 | 延べ面積 |
| 長野県松本市笹賀 (職員宿舍他) | 敷地他 | 3,799.72 m ² | 269,525 千円 | |
| | 宿舍他 | 129.17 m ² | 421 千円 | |

2) 当該年度の主な施設設備の取得または処分

- ①松本看護大学・松本短期大学 オープンテラス整備（松本短期大学開学 50 周年事業） 11,595 千円
- ②松本看護大学・松本短期大学 1・2 号館女子トイレ洋式化 6,794 千円
- ③松本短大幼稚園 砂場日よけ整備 4,312 千円
- ④松本看護大学・松本短期大学 1・2 号館 Wi-Fi 機器設置 3,629 千円
- ⑤松本短大幼稚園 遊戯室西側倉庫 3,272 千円

(12) その他

1) 当該年度の重要な契約

なし

2) 係争事件の有無

なし

3) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事項

なし

2. 事業の概要

(1) 学校法人松本学園 事業の概要

学校法人松本学園は、法人設立以来、安定的な経営基盤を確立し、建学の精神および教育理念、教育目標に則った教育の具現化に取り組んでいます。

昨今の人口減少や競合校の増加など、学園を取り巻く厳しい環境の中でも教育・研究活動を永続的に発展させ、地域社会への貢献を果たしていきたいと考えています。

<主な事業の計画>

- 1) 規程集の再編
- 2) 第2期中期経営計画の推進、見直し、検証
- 3) 施設・設備の整備

<計画の進捗状況>

1) 規程集の再編

令和2年度に松本看護大学の設置認可後、大学に必要となる諸規程の整備を行ってまいりましたが、法人全体にかかる規程や大学・短大との共通規程等、規程によって適用範囲が異なるため、それらの規程を確認し、必要に応じて規程の改正を行いました。令和3年度の規程制定・改正内容および審議した理事会は以下の通りです。

| 理事会開催日 | 規程 |
|------------|---|
| 令和3年8月23日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. (改正) 学校法人松本学園 施設(学外者)使用規程 2. (改正) 松本看護大学・松本短期大学 附属図書館規程 3. (改正) 松本看護大学・松本短期大学 附属図書館利用規程 4. (改正) 松本短期大学 入学者選抜規程 5. (改正) 松本短期大学 履修規程 6. (改正) 松本短期大学 科目等履修生規程 7. (改正) 松本短期大学 研究生等規程 |
| 令和3年11月26日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. (制定) 学校法人松本学園 固定資産及び物品調達規程 2. (制定) 松本短大幼稚園 通園バス管理運行規程 3. (改正) 学校法人松本学園 固定資産管理規程 4. (改正) 松本看護大学・松本短期大学 紀要投稿規程 |
| 令和3年12月24日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. (改正) 松本短大幼稚園 園則 |
| 令和4年3月25日 | <ol style="list-style-type: none"> 1. (改正) 松本看護大学・松本短期大学 裁量労働取扱い規程 2. (改正) 松本短大幼稚園 園則 |

2) 第2期中期経営計画の推進、見直し、検証

令和3年度の施設・設備の整備状況は「3) 施設・設備の整備」にて記載しております。中期計画において年度未定としておりましたWi-Fi設備の拡充は新型コロナウイルスに伴う遠隔授業や自己学習に早急に対応する必要があると判断し、令和3年度に実施いたしました。各学校の中期計画に基づく令和3年度の取組については各学校の事業報告書に記載しております。財務計画については令和3年度の決算内容を踏まえた検証を令和4年度より進めていきます。

3) 施設・設備の整備

令和3年度に予定しておりました施設・設備についての計画は以下のとおりです。

松本看護大学・松本短期大学

- ①Wi-Fi設備(1号館、2号館)の拡充

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う遠隔授業への対応および学生の学習環境の向上を主な目的としまして1号館・2号館のWi-Fi設備の拡充を行いました。教室およびスタディールーム、体育館、研究室において新たにWi-Fiの利用が可能となりました。

②防火シャッター（1号館、2号館）の一斉点検整備

安全性確保のため消防設備点検に合わせて防火シャッターの点検を年2回実施しました。今年度は不備等がないことが確認されましたが、翌年度以降も消防計画に基づいた消防設備の点検を定期的に行っていきます。

③ベッド（介護実習室）の入れ替え

耐用年数を超えていた介護実習室のベッドについて、介護施設等で実際に利用しているベッドに2台入れ替えを実施しました。旧式のベッドからの入れ替えにより、学内演習時の学習成果向上に繋がることを期待しています。

④書画投影設備（401、402教室）導入

実習指導等の授業での使用を想定した書画投影設備（書画カメラ）の導入について検討しましたが、今年度は設備のある別の教室で授業を行うことにより問題なく授業を進めることができました。設備の導入については、今後、大学においても2号館の授業が行われていくことから、大学・短大での必要性を改めて検証し、必要な場合は、現在の教卓のスペースでの利用を踏まえて、貸出が可能なポータブルタイプの機器の購入で対応することを検討していきます。

⑤敷地内北西部の休憩スペース

松本短期大学開学50周年事業の一環として、3号館と音楽棟の間のスペースを「オープンテラス」として整備し、記念モニュメントおよび樹木、照明、ベンチ等を設置しました。休憩時や昼食時に学生が集まるスペースとして活用されている他、学生、教職員、来校者等のステークホルダーに対し松本短期大学および法人の歴史について認識できるスペースとなっております。

⑥女子トイレ洋式化（1号館・2号館）改修工事

学生より要望の高かった女子トイレ便器の和式から洋式化への改修工事を実施し、各トイレ内にある和式便器の一部洋式化を実施しました。洋式化に合わせて最新のシャワートイレとしたことにより、学生の施設に対する満足度向上が期待されます。

松本短大幼稚園

①砂場日よけ工事

砂場遊びの環境向上のため、松本市の補助事業を活用して砂場日よけを整備しました。

②倉庫設置工事

組み立て式プールの格納用として、県の補助事業を活用して倉庫を整備しました。

4) 運営に関する計画

① 理事長のリーダーシップによる改革

昨年度は理事長のリーダーシップの下、松本看護大学設置に向けた作業・申請を行いました。松本短期大学看護学科で培った実績や経験、教育資源などを活かし、令和3年の開学が認可されました。今年度は開学後の体制整備を理事長指揮のもとで諸規程の整備、ガバナンスコードの改正等を実施しました。

幼稚園では、入園希望者の増加、松本市待機児童数の現状を踏まえた利用定員変更について検討を指揮し、利用定員を増員する措置を行いました。

<今後の課題>

- ・安定した経営基盤の確立
- ・中長期計画の必要に応じた見直し
- ・施設・設備計画の具現化

(2) 松本看護大学 事業の概要

建学の精神

前述のとおりです。

教育理念、目的

前述のとおりです。

教育目標

松本看護大学が養成する人物像とその人材像を内包する3つの柱を策定し、この柱を軸に人材の育成を目標とする。

1) 養成する人物像

生命の尊厳に基づく倫理観と幅広く深い教養を有し、生涯を通じて知識・技術を学び続け、地域の保健医療福祉に対する理解と看護に必要かつ十分な知識と素養を有し、多職種と連携・協働し、地域の保健医療福祉の向上に貢献できる看護実践能力をもった看護職者

2) 養成する人物像に内包される3つの柱

(1) 人間性

・生命の尊厳に基づく倫理観を有し、幅広く深い教養と誠実な人間性を備え、多様な価値観を尊重し、人々との関係を成立・発展できる人材

・生涯を通じて自ら学び、社会人としてまた、専門職業人として自己研鑽と自己成長を通じ看護の発展と地域貢献のために主体的・積極的・意欲的に行動できる人材

(2) 看護実践力

・看護に必要な知識の追求と素養を有し、科学的根拠・理論的知識を元に安全に個別的に最善の看護が実践できる人材

・生命力、自然治癒力、意志力といったその人のもてる力を最大限生かした看護が実践できる人材

(3) 地域貢献

・地域の保健医療福祉に対して深い洞察力と分析力を有し、その現状を理解し、また、健康課題を明らかにし、地域の発展のために多職種の人々と協働し、貢献できる人材

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

(1) 入学後の大学教育に必要な基礎学力を有している人

(2) 看護・保健・医療・福祉分野に広く関心のある人

(3) 人間の生命を大切に思い、誠実な態度で他者と関わることができる人

(4) 看護学を主体的・創造的に学ぶ意欲を有している人

(5) 人々と良い関係を持ち、自分の考えを的確に表現する力が備わっている人

(6) 主体的に考え行動できる人

(7) 大学で学んだ看護学を地域社会の為に生かそうという志のある人

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

(1) 多様な人々との関係を成立・発展できる能力を身につけるための科目を教養科目、専門科目に配置する。

(2) 主体的行動力を身につけるための科目を教養科目、連携科目、専門科目に配置する。

(3) 地域貢献力と多職種連携能力を身につけるための科目を連携科目、専門科目に配置する。

(4) 課題発見能力と課題解決能力を身につけるための科目を連携科目、専門科目に配置する。

(5) 看護の知識と看護実践力を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。

(6) 地域の多様な健康課題に対応できる力を身につけるための科目を教養科目、専門基礎科目、専門科目に配置する。

(7) 授業形態は教育の目的に応じて講義形式、演習形式、実習形式の3つに区分し、下記の方針に従った教育方法を行う。

・知識の理解を目的とする教育内容については、講義形式をとる。

- ・態度・志向性及び技術や技能の修得を目的とする教育内容については、演習形式をとる。
- ・理論と実践の統合を図り、臨地の場において理論的知識や技術を看護実践に応用展開するための能力を身につけることを目的とする教育内容については、実習形式をとる。

ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

所定の卒業要件単位を取得し、次のような能力、資質を備えたうえで、看護学の知識・技術を用いて社会に貢献できる学生に対し、卒業を認定し学士（看護学）の学位を授与する。

- (1) 多様な人々との関係を成立・発展できる能力
 - ・人間性豊かな生命の尊厳に基づく倫理観を有し、多様な人々との関係を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を有する
- (2) 主体的行動力
 - ・自立した社会人として主体的かつ意欲的に行動することができる
- (3) 地域貢献力と多職種連携能力
 - ・在宅看護学、救急・災害看護学、公衆衛生看護学の選択分野を学修し、保健医療福祉の関連分野の人々と連携・協働し、地域保健医療の充実と発展に貢献できる基礎的な能力を身につけている
- (4) 課題発見能力と課題解決能力
 - ・看護現場における課題を発見し、その解決のための方法を探究し、その成果を実践することができる
 - ・看護の発展に寄与できる自己研鑽力と基礎的研究能力を有する
- (5) 看護の知識と看護実践力
 - ・地域の特性や対象となる人々を理解し、尊重し、多様な人々の看護に必要な知識を身につけ、科学的根拠に基づき安全な看護を実践する能力を有する
- (6) 地域社会と多様な健康課題に対応できる力（保健師課程）
 - ・科学的根拠と文化的感受性をもって地域社会の健康課題を把握・分析・診断する能力を有する
 - ・集団や組織に対し支援・協働・施策化を通じ、人々の健康増進能力を高め、健康課題を解決するための基盤となる能力を有する

1) 入学試験に関する状況（令和4年度入試）「別紙5参照」

入学定員70名に対し、最終的に76名の（男9名、女67名）の入学生を確保することができました。

2) 教員組織、教員数並びに各教員が有する学位及び業績

ホームページに掲載しています。

<https://www.matsutan.jp/college/report>

（トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績」）

3) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画

「シラバス（看護学部 看護学科）」に記載しています。

<https://www.matsutan.jp/college/report>

（トップページ→情報公開→「概要」→「松本看護大学 令和3年度 シラバス」）

4) 学修の成果に係る評価及び卒業にあたっての基準

ホームページに掲載しています。

<https://www.matsutan.jp/college/report>

（学修の成果に係る評価：トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「4. 学修成果に係る評価」）

（卒業にあたっての基準：トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「5. 卒業にあたっての基準（必修・選択別の必要単位修得数及び修得可能学位）」）

5) 授業料、入学金、その他徴収する費用

ホームページに掲載しています。

<https://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「1. 教育研究上の基礎的な情報」→「5. 授業料、入学料その他大学が徴収する費用」)

6) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

<https://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「6. 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援」)

<主な事業計画>

- 1) 教育に関する計画
- 2) 学生支援に関する計画
- 3) 入学者の受け入れに関する計画
- 4) ステークホルダーとの連携に関する計画
- 5) 施設・設備に関する計画
- 6) 運営に関する計画

<計画の進捗状況>

1) 教育に関する事項

a. 学生が成長する教育の実践

講義で学んだ内容を演習において実践・展開ができるよう時間割配置を工夫し、学生の学修成果獲得につなげられるよう取り組みました。これにより、理論として学んだことが実践においてどのように結びつくのかを学生自身が考えることができ、主体的な学びを提供することができたと考えています。

また、看護の基礎技術の習得をサポートするために、教員が手本を示してしている動画を撮影し、学生は実践しながら教員の手本を繰り返し見て学べるように実習室にある機器・備品を活用しました。この取り組みにより、学生が授業時間以外における自己学習を積極的に行ったことが、実習室使用記録からも感じられています。

b. 「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」及び「看護師学校等養成所の運営に関する指導ガイドライン」の改正への対応

令和4年4月の保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正に伴い、4月よりカリキュラム検討委員会（臨時委員会）を立ち上げ、本学の特色としている3つの分野（救急・災害、在宅、公衆衛生）を中心とした学則（教育課程）変更申請を令和3年9月6日付けで行い、令和4年3月3日に変更承認となりました。

2) 学生支援に関する事項

a. 高等教育の修学支援新制度

昨年度に申請し認定された高等教育修学支援新制度の対象機関として、授業料及び入学金に関する減免制度を活用しています。

今年度にこの制度を活用した学生の実績は下表のとおりです。

表. 令和3年度 松本看護大学 高等教育修学支援新制度活用実績

| 学部 | 学年 | 授業料 | | | | 入学金 | | 合計(円) |
|------|----|-----|-----------|----|-----------|-----|-----------|-----------|
| | | 前期 | | 後期 | | 人数 | 減免額(円) | |
| | | 人数 | 減免額(円) | 人数 | 減免額(円) | | | |
| 看護学部 | 1 | 15 | 3,733,800 | 13 | 3,033,200 | 15 | 2,133,800 | 8,900,800 |
| 合計 | | 15 | 3,733,800 | 13 | 3,033,200 | 15 | 2,133,800 | 8,900,800 |

(参考：令和3年度 松本看護大学 奨学金の受給状況)

| 学部 | 学年 | 日本学生支援機構 | | | | 看護職員 修学資金 | その他 | 合計 (件) |
|------|----|----------|----|----|----|--------------|-----|-----------|
| | | 計 | 一種 | 二種 | 給付 | | | |
| 看護学部 | 1 | 48 | 20 | 13 | 15 | 3 | 11 | 62 |
| 合計 | | 48 | 20 | 13 | 15 | 3 | 11 | 62 |

※看護職員修学資金＝長野県看護職員修学資金

b. 学生生活の支援

本学では専任教員2名のチューター制により、学生からの相談等の支援することとし、手厚い学生支援を行うよう努めています。入学当初は大学生活に戸惑う学生もおりチューターや保健センター職員が対応することもありましたが、欠席や遅刻等を繰り返す学生はおらず、進路変更を1名の学生を除いた78名が進級しました。

今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、リモート授業を実施せざるを得ない状況となった期間もありましたが、スポーツ大会等も感染レベルが低い時期に実施するなど学生支援委員会が中心となり学生生活の充実をサポートしました。また、学生生活アンケートを複数回実施し、学生の状況や要望を把握し支援につなげる取り組みも行いました。

学生生活アンケートにおける学生からの要望による主な対応方法は下表のとおりです。

表. 令和3年度 松本看護大学 学生生活アンケート主要要望等

| 学生からの要望 | 対応方法 |
|--|---|
| オンライン授業の際に用いる課題を郵送するのはやめてほしい。(実家に帰省している場合、課題が受け取れない) | 郵送してほしいという学生もいるが、課題が届くまでの時間の平等性から、Teams にアップすることとした。 |
| Zoom と Teams の併用はやめてほしい | 専任教員に関しては Teams で統一した。 非常勤講師に関しては、一部の教員を除き Teams で統一をして実施した。 |
| スクールバスの便数を増やしてほしい。 | 臨時便を適宜追加して対応した。 |
| 3号館にポットや電子レンジを置いてほしい。(昼食時に使用するため) | コロナウイルス感染拡大防止のため、ポット等の設置は見合わせていることを説明した。 |
| 3号館に自動販売機を設置してほしい。 | 設置した。 |
| 3号館にもロッカーがほしい。 | 教室棚を整理し、学生一人一人の荷物置き場を整備した。 |
| 教室を広くしてほしい。 | 物理的にできないこと、100名までの授業ができる広さであることを説明した。 |
| 1号館と2号館でもWi-Fiがつながるようにしてほしい。 | 整備した。 |

3) 入学受け入れに関する事項

a. 長野県全域からの学生受け入れ

本学における長野県中信地区からの志願率(出身高等学校が中信地区にある志願者数/全志願者数で算出)は令和3年度入学試験および令和4年度入学試験ともに40%前半でしたが、長野県南信地区からの志願率は、令和3年度入学試験は約22.9%、令和4年度入学試験においては約28.1%と5.2%上昇しました。本学の前身となる松本短期大学看護学科では、長野県中信地区からの志願率が約55%~70%と非常に高く、南信地区からの志願率は約10%~15%ほどでした。本学では、中信地区を中心に長野県全域から本学の特色に興味ある学生に志願してもらえるよう今後も努めていくつもりです。

b. SNS、広告動画等

今年度の入学生に聞き取りを行い、動画配信サイトにおける広告動画(web 広告含む)より、SNS(ソーシャルネットワークサービス)による個別対応に高評価を得られたことから、今年度はSNSによる情報発信(主にオープンキャンパス情報、個別相談等)に重点を置きました。LINEの「友だち」登録には多くの方に登録していただき、今まで以上に情報発信ができたと考えています。

4) ステークホルダーとの連携に関する事項

a. 公開講座につながる取り組み

新型コロナウイルス感染拡大のため、笹賀地域を中心とする松本地域（ステークホルダー）に向けた公開講座は中止としました。

5月末には令和3年度第1回実習連絡会を開催し、7病院の看護部長様や実習指導者の皆様に本学にお集まりいただき、連絡会および実習室の見学等を実施することができましたが、2月に予定していた臨地実習でお世話になる全病院・施設・保健福祉事務所等の皆様との連絡会は、新型コロナウイルス感染拡大により延期している状況です。

このような状況下の中、地域のステークホルダーの皆様との連携協力できる機会を模索し、本学では新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場でのワクチン接種補助業務や会場設営ボランティア、長野県からの依頼による松本保健福祉事務所における積極的疫学調査への協力を行いました。実績は下表のとおりです。

表. 令和3年度 松本看護大学 地域との連携協力実績（No.1には松本短期大学教員含む）

| No. | 連携協力内容 | 場所 | 期間（日数） | 延べ人数 |
|-----|-------------------------------|------------|---------------|------|
| 1 | 新型コロナウイルスワクチン接種 接種・希釈・充填業務 | 松本市アルピコプラザ | 6/26～8/1（8日） | 32名 |
| 2 | 新型コロナウイルスワクチン接種 医師業務 | 松本市合同庁舎 | 7/4（1日） | 1名 |
| 3 | 積極的疫学調査 | 松本保健福祉事務所 | 2/2～3/31（33日） | 35名 |

No.3については、令和4年4月以降も継続予定

b. 保護者との連携

本学では4月3日に感染防止対策を徹底した上で入学式を挙行することができ、その際、希望する保護者を対象とした学内の見学会を実施しました。また、入学式全日程終了後、個別に質問や疑問点をお聞きする時間を設け、保護者の皆様との連携協力の第一歩といたしました。

新型コロナウイルス感染拡大がさらに深刻化した6月には、学園として決定した「県外移動に関する取り決め」を記した通知文を保護者の皆様宛に郵送し、その後も3度にわたり学内における新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた案内等を送付しました。感染拡大が収束しない中ということもあり、対面ではなく書面での連携となりましたが、問い合わせの窓口を全て1つにまとめたことでトラブルもなく、通常の連携が図れていると感じています。

5) 施設・設備に関する事項

2.(1) 学校法人松本学園 事業の概要に記載しています。

6) 運営に関する事項

a. 学長を中心とした教学体制の点検

4月に開学した本学において、1年を経過した今、教学体制の自己点検が必要となります。今年度は1学年のみが在籍していたため、必要に応じて教授会や拡大教授会を随時開催することができ、学長の決定に必要な各委員会の情報や領域における実習施設との連携状況などをオンタイムで提供することができたと考えています。各領域の演習科目や実習が開講され、全教員を招集し教授会を開催する時間が限られる令和5年度以降を見据え、教学に関する課題点を教員間で共有し、各委員会や各領域での報告事項をどのように学長に提案し、学長の決定を受けるのかといった教学体制の構築が今後の課題となると考えています。

b. 自己点検・評価活動の体制整備

本学の自己点検・評価は、自己点検・評価委員会が中心となり、教職員全員で実施していきます。今年度は報告書の作成までには至らず、各委員会の活動報告の取りまとめを行うことにとどまっています。認証評価を受審するまでには数年の期間がありますが、報告書の作成を受審対象年度分のみ行うことは困難である為、各年度の自己点検を積み重ねていきたいと考えています。

7) その他

a. FD 活動

来年度以降の授業に活かすため、学生による授業評価を実施しました。実施方法は QR コードを学生がスマートフォン等で読み取り、学生自身の授業に取り組む意欲や教員の作成した資料のわかりやすさなどを4段階で評価するアンケート形式で実施しました。自由記載欄も設け、学生は回答を Forms に入力し、担当者が Forms により自動集計された結果を出力し授業担当者に配布しています。学生からの回答率は授業科目によって差があり、回答率の上昇が今後の課題となってくると考えています。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、延期となっていた FD 研修会を3月18日(金)に講師として長野県看護協会 会長 松本あつ子氏を迎え、「長野県の保健医療看護の特徴から看護教育に期待すること」をテーマにご講演いただき、ディスカッションを交えながら開催することができました。

b. 学生動向

令和3年度の学生動向は下表のとおりです。

表. 令和3年度 松本看護大学 学生動向

| 学部 | 学年 | 年度当初在籍者数 | 退学者数 | 除籍者数 | 卒業者数 | 年度末在籍者数 |
|------|----|----------|------|------|------|---------|
| 看護学部 | 1 | 79 | 1 | 0 | 0 | 78 |
| 計 | | 79 | 1 | 0 | 0 | 78 |

<今後の課題>

- ・入学生確保（合格者数の検討）
- ・新型コロナウイルスに係る対応（感染防止、リモート授業等）
- ・学生の満足度向上（チューター制による各学生の修学への不安・悩み等の把握、アンケート実施等）

(2) 松本短期大学 事業の概要

建学の精神

前述のとおりです。

教育理念

前述のとおりです。

教育目標

松本短期大学は教育理念を受けて、「命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」を育成するために、3学科に共通する「ひとの命と健康を考える」「ひとの可能性を考える」「ひとの生活を考える」「ひとの権利を考える」「学修の基礎力を培う」の5つの柱を掲げ、ケアスペシャリストの養成教育を行う。また、地域のニーズを把握し、地域に寄与できる実践能力を育成するとともに、地域に密着し、幅広い視野に立ち、連携・協働できる人間関係調整力を養う。

① ケアスペシャリストとしての人間性と倫理観の育成

本学では、保育士及び幼稚園教諭・介護福祉士・看護師に必要な専門職としての自覚・責任感・倫理観をもち、信頼関係を築くことができるケアスペシャリストとしての豊かな人間性を育成する。

② ケアスペシャリストに必要な専門的知識・技術・思考能力の育成

本学では、専門職に必要な基本的、かつ専門的な知識と技術を教授し、その知識と技術を安全に提供でき、さらに応用できる思考の基礎を育成する。

③ 地域における保健医療福祉及び教育の多様化・個別化するニーズに応える実践能力の育成

本学では、地域における保健医療福祉及び教育の多様なニーズを把握し、個別のニーズに対応できる確かな実践能力を育成する。

(幼児保育学科)

幼児保育学科では、本学の建学の精神、3学科の教育理念・教育目標より、以下の教育目標を掲げています。

- ① 保育及び幼児教育に携わる専門職業人としての自覚・責任感・倫理観を育成する。
- ② ケアスペシャリストとして、人と信頼関係を築くことができる豊かな人間性を育成する。
- ③ 保育及び幼児教育に携わる専門職業人に必要な専門知識・技術・思考能力を育成する。
- ④ 地域における保育及び幼児教育の多様化、個別化するニーズに応える実践能力を育成する。

(介護福祉学科)

介護福祉学科では、本学の建学の精神、3学科の教育理念・教育目標より、以下の教育目標を掲げています。

- ① 豊かな感性を備え、人への深い関心をもち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができる人間教育を行う。
- ② 社会的期待に応えることができるよう介護福祉の倫理のもと、介護福祉の専門的知識と技術を修得し、さまざまな課題を解決できる力を養う。
- ③ 地域に開かれ地域に密着した教育を行い、広い視野に立って多職種との連携・協働を考えることのできる力を養う。

(看護学科)

看護学科では、本学の建学の精神、3学科の教育理念・教育目標より、以下の教育目標を掲げています。

- ① 体系化された実践科学としての看護学を修得し、実践応用の力を身につける。
- ② 豊かな人間性を持った社会性のある看護専門職者として基本的な能力を身につける。
- ③ 看護専門職者としての意識、責任感、倫理観を身につける。
- ④ 看護専門職者として地域特性を見極めた看護が提供できる能力を身につける。
- ⑤ 国家試験に合格する看護の知識と技術水準を身につける。

アドミッション・ポリシー (入学者受け入れの方針)

(幼児保育学科)

豊かな人間性を備えたケアスペシャリストをめざし、専門知識と技術を身につけ、地域社会に貢献できる人を育成します。それに基づき、幼児保育学科では、以下のような学生を求めます。

- ① 子どもの育ちと生活に興味・関心がある
- ② 誠実に人と向き合える
- ③ 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- ④ 学びや体験の機会に意欲的に取り組むことができる
- ⑤ 入学後の学修に必要な基礎学力がある

(介護福祉学科)

本学は「豊かな人間性の涵養」と「ケアスペシャリストの育成」を教育理念としています。このことに共感し、豊かな感性を備え人と関わり、専門的知識・技術を身に付けて、地域社会に貢献できる学 生を求めます。

- ① 介護福祉や社会福祉に関心を持ち、学ぶ意欲をもっている
- ② 人の立場になって考えることができる
- ③ 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- ④ 人と共に協力して活動に取り組むことができる
- ⑤ 入学後の学修に必要な基礎学力がある

(看護学科)

「生命・可能性・権利を保証し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリスト」としての看護師を 育成します。それに基づき次のような学生を求めます。

- ① 人の健康、生活、医療に興味・関心がある
- ② 誠実に人と向き合える
- ③ 人の話をよく聴き、自分の考えを伝えることができる
- ④ 周囲のできごとを自分のこととしてとらえ、感じられる
- ⑤ 入学後の学修に必要な基礎学力がある

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

(幼児保育学科)

教育目標とそれに関わるディプロマ・ポリシーに鑑み、保育及び幼児教育に関わる課題を、理論と実践の両面から思考し、また実践できる能力を養うため、以下の方針に沿ってカリキュラムを編成しています。

授業科目は、教養基礎科目と専門科目があり、これを2年間に配当します

- ① 教養基礎科目は、本学の目標である「命・可能性・権利を保障し、その人らしい生活を支えるケアスペシャリストの育成」という観点から、3学科共通の教養基礎科目の枠組みに基づき編成しています。
- ② 専門科目は、「[保育の基礎] [子どもの成長と発達] [感性を高める想像力と創造力] [児童家庭福祉] [保護者支援] [保育実践力] [教養研究] [自己形成]」の各分野から配置しています。

(介護福祉学科)

教育目標とそれにかかわるディプロマ・ポリシーに鑑み、以下の方針にそってカリキュラムを編成しています。

授業科目は、教養科目、人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケアがあり、これを2年間に配置している。

- ・ 教養科目は、専門職としての価値・知識・技術を持ち、成長し続ける力を養うための土台作りの科目として編成されている。豊かな人間性を育むため、短期大学での学び方にの基礎を身につけ、進路選択・進路設計を考えることを中心とする。
- ・ 人間と社会、介護、こころとからだのしくみ、医療的ケアは、介護福祉士国家試験受験資格に関わる科目である。

「5つの到達目標」に関連する科目構成と達成するための工夫

- ① 介護福祉士の仕事は人間を対象とする。なかでも高齢者や障がい者と接する機会が多い仕事であるため、尊厳を守るという価値・対人援助に関する知識・技術が必要である。したがって、社会の中での人間を捉え、人との関わり方を重視し、自己の

感性を高めていくとともに、相手の立場に立って考える力や信頼関係の構築に役立つ科目構成としている。

- ② 幅広い視野に立つためには、介護や福祉の理念や生活に関連する法律についての知識も必要になる。また、単なる知識の修得にとどまらないよう、領域「人間と社会」の中の社会の理解に関する科目を多く設定し、実際の社会問題に関するディスカッションを通じ、介護福祉士として対象者の尊厳と権利を守ることができる科目構成としている。
- ③ 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応するため、各領域から得られた知識・技術を統合し、アセスメント能力を高め実践力をつけることが必要である。生活支援技術では、生活の質を向上する根拠をもった基礎的な技術から、人生の質の向上するための支援まで、幅広い視野に立った介護過程の展開ができるように、介護実習で実践力を養う構成としている。
- ④ 地域に開かれ地域に密着した教育をしていくために、学生が地域から学び、地域での活動の輪を広げて実践できるような科目構成としている。また、地域において介護実践力を高められるよう、多職種との連携・地域の理解を複数の科目と介護実習で段階的に学んでいく横断的な構成としている。
- ⑤ 介護実践能力を高めるとともに、研究的な能力を育成するために、介護現場で学んできたことを振り返り、まとめていくことを大切にしている。介護実習終了後には、実習のまとめを行うとともに、2年次には介護研究に取り組み、その成果を発表している。

(看護学科)

教育目標およびディプロマ・ポリシーおよび看護師養成所指定規則に則り以下の方針に沿ってカリキュラムを編成しています。

- ① ケアスペシャリストとしての人間性の育成のために、「ひとの命と健康を考える」、「ひとの可能性とつながりを考える」、「ひとの権利を考える」、「ひとの生活と環境を考える」、「学修の基礎能力を養う」に基づく看護関連学の科目を配置する。
- ② 看護のケアスペシャリストとして、看護実践に必要な知識・技術を身につけるための看護専門科目を配置する。
- ③ さらに、①②の科目を統合・発展し実践する分野として看護専門科目に統合分野を配置する。
- ④ 地域の保健医療福祉および教育に貢献できる人材育成のために、3学科共通の地域志向科目を配置する。
- ⑤ 看護師国家試験合格に向けた知識と活用力を強化する。

ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)、修了認定の方針

(幼児保育学科)

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると設定し、「短期大学士」の学位を授与します。

- ① 基本的教養を身につけ、誠意と思いやりのある豊かな人間性を持ち、保育及び幼児教育のケアスペシャリストとしての倫理観を備えている。
- ② 保育及び幼児教育に関する基本的知識と技術を幅広く習得している。
- ③ 反省的・創造的に保育及び幼児教育活動に取り組むための基盤となる子どもの理解力、保育実践力を身につけている。
- ④ 子どもの成長と発達について理解し、子どもの視点に立ってその最善の利益を保証できるよう思考力と実践力を身につけている。
- ⑤ 子どもの感性を高める豊かな創造力と想像力を備えている。
- ⑥ 社会福祉全般に関する知識を持ち、子どもの最善の利益を軸とした分析力と判断力を身につけている。
- ⑦ 保護者支援に関わる原理・原則の理解及び地域・関連機関との連携を可能とする実践力を身につけている。
- ⑧ 自立した個人として、また保育及び幼児教育のケアスペシャリストとして主体的に学び続け、生涯にわたって自己の成長を追求できる力を備えている。

(介護福祉学科)

本学科に2年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、「短期大学士」の学位を授与いたします。

- ① 温かいこころと豊かな感性を備え、人への深い関心もち、個人の尊厳を守り、信頼関係を築くことができている。
- ② 介護を必要とする人の自立支援と、その人らしい生活を支えることのできる専門的知識と技術を修得している。

- ③ 根拠に基づいた介護過程の展開ができ、質の高い利用者本位のサービスを考えることができています。
- ④ 常に問題意識をもち、介護実践の質的な向上や介護をめぐる課題について探求し、より良い介護を追求できています。
- ⑤ 介護実習や地域交流等で、多職種との連携・協働や地域に貢献する必要性を理解できています。

(看護学科)

本学科に3年以上在学し、本学の「建学の精神」「教育理念」「教育目標」に基づいて設定した学科の授業科目を履修し、規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、「短期大学士」の学位を授与いたします。

- ① 人は、身体的・精神的・社会的側面を持つ存在と理解している。
- ② 看護対象者の健康段階・発達段階に応じた看護を実践している。
- ③ 看護の本質を学び、自己の看護観をもっている。
- ④ 学修を通して、状況に応じた人間関係を築いている。
- ⑤ 自己成長のための努力をしている。
- ⑥ 地域の特性を理解し看護に反映している。

1) 入学試験に関する状況 (令和4年度入試) 「別紙5参照」

幼児保育学科は入学定員100名に対し102名の入学者、介護福祉学科は入学定員40名に対し27名の入学者を確保することができましたが、介護福祉学科は入学定員を確保することができませんでした。

2) 国家試験に関する状況

① 介護福祉士国家試験 各年度の受験者数、合格者数、合格率などは下表のとおりです。

| 受験年度 | 学科等 | 卒業 者数 | 受験者数 | | | | 合格率 (%) | | |
|------|-----|----------|---------------|-----------|------|-------|---------|----------|------|
| | | | 当該卒業年度 受験者 | 既卒 受験者 | 合格者数 | 不合格者数 | 本学 | 全国 平均 | |
| H29 | 介護 | 35 | 34 | 34 | - | 32 | 2 | 94.1 | 70.8 |
| | 専攻科 | 3 | 3 | 3 | - | 3 | 0 | 100.0 | |
| H30 | 介護 | 36 | 35 | 35 | - | 33 | 2 | 94.3 | 73.7 |
| | 専攻科 | 1 | 1 | 1 | - | 1 | 0 | 100.0 | |
| R01 | 介護 | 37 | 37 | 37 | - | 35 | 2 | 94.6 | 69.9 |
| | 専攻科 | 4 | 4 | 4 | - | 4 | 0 | 100.0 | |
| R02 | 介護 | 29 | 28 | 28 | - | 26 | 2 | 92.9 | 69.9 |
| | 専攻科 | 4 | 3 | 3 | - | 3 | 0 | 100.0 | |
| R03 | 介護 | 26 | 26 | 26 | - | 24 | 2 | 92.3 | 72.3 |
| 合計 | | 175 | 171 | 147 | - | 161 | 10 | Ave 94.1 | 71.3 |

平成29年度より、介護福祉士養成校の卒業者に対しても介護福祉士国家試験が始まりました。カリキュラムに特別講座を盛り込むほか、正課外においても模試や対策講座、チューター単位での勉強会等を実施し、国家試験対策を行ってきました。令和4年1月30日(日)に第34回介護福祉士国家試験が実施され、令和2年度の介護福祉学科入学生26名全員が受験し、24名が合格という結果となりました。

② 看護師国家試験 各年度の受験者数、合格者数、合格率などは下表のとおりです。

| 受験年度 | 卒業 者数 | 受験者数 | | | | 合格率 (%) | | |
|------|----------|----------------|-----------|------|-------|---------|------|------|
| | | 当該卒業年度 受験者* | 既卒 受験者 | 合格者数 | 不合格者数 | 本学 | 全国平均 | |
| H20 | 45 | 45 | 45(0) | - | 38 | 7 | 84.4 | 89.9 |
| H21 | 55 | 62 | 55(8) | 7 | 53 | 9 | 85.5 | 89.5 |

| | | | | | | | | |
|-----|-----|-----|----------|----|-----|----|----------|------|
| H22 | 45 | 52 | 45(5) | 7 | 43 | 9 | 82.7 | 91.8 |
| H23 | 43 | 50 | 43(5) | 7 | 49 | 1 | 98.0 | 90.1 |
| H24 | 39 | 41 | 39(8) | 2 | 36 | 5 | 87.8 | 88.8 |
| H25 | 40 | 45 | 40(12) | 5 | 40 | 5 | 88.9 | 89.8 |
| H26 | 59 | 63 | 59(12) | 4 | 63 | 0 | 100.0 | 90.0 |
| H27 | 45 | 44 | 44(12) | 0 | 43 | 1 | 97.8 | 89.4 |
| H28 | 52 | 54 | 52(13) | 2 | 53 | 1 | 98.1 | 92.7 |
| H29 | 35 | 36 | 35(9) | 1 | 36 | 0 | 100.0 | 91.0 |
| H30 | 37 | 37 | 37(13) | 0 | 37 | 0 | 100.0 | 89.2 |
| R01 | 42 | 42 | 42(13) | 0 | 42 | 0 | 100.0 | 89.2 |
| R02 | 69 | 69 | 69(18) | 0 | 69 | 0 | 100.0 | 92.8 |
| R03 | 55 | 55 | 55(9) | 0 | 52 | 3 | 94.5 | 91.3 |
| 合計 | 661 | 695 | 660(137) | 35 | 654 | 41 | Ave 94.1 | 90.4 |

* () は、修業年限3年を超えて卒業した者の内数

平成26年度から、国家試験対策として非常勤助手1名(看護専門学校の前教員)を採用して国家試験対策を行っています。令和4年2月13日(日)に第111回看護師国家試験が実施され、55名が受験し、52名合格という結果でした。

3) 教員組織、教員数並びに各教員が有する学位及び業績

ホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「1. 教員組織、各教員が有する学位及び業績」)

4) 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画

各学科のシラバス [履修ガイド] に記載しています。シラバスはホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「概要」→「令和3年度 シラバス [履修ガイド]」)

5) 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了に当たっての基準

ホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「4. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了に当たっての基準(必修・選択別の必要単位取得数及び取得可能学位)」)

6) 授業料、入学金、その他徴収する費用

ホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「1. 教育研究上の基礎的な情報」→「4. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用」)

7) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

ホームページに掲載しています。

<http://www.matsutan.jp/college/report>

(トップページ→情報公開→「2. 修学上の情報等」→「5. 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援」)

8) 卒業生数、修了者数、学位授与数

前述のとおりです。

<主な事業の計画>

- 1) 教育に関する計画
- 2) 学生支援に関する計画
- 3) 入学者の受け入れに関する計画
- 4) 地域との連携に関する計画
- 5) 施設・設備の整備計画
- 6) 運営に関する計画
- 7) その他

<計画の進捗状況>

1) 教育に関する計画

① 幼児保育学科

学生が成長する教育の実践

空きコマを利用し、自主学習の時間を設け、専任教員に相談できる体制を整備するなど学生が主体的に学ぶ姿勢をサポートする工夫を令和2年度より取り組んでいます。また、キャリアサポートのための公務員試験対策の模試を実施し、正課以外の学習機会の確保に努めました。ボランティアや市町村のイベントに積極的に参加することを計画しておりましたが、新型コロナウイルスの影響により学科全体での対外的な交流活動は令和2年度に続き見合わせることとなりました。そのような中、児童センターや施設での交流活動をゼミといった小規模なグループ単位で感染対策に努めながら可能な限り参加しました。

② 介護福祉学科

学生が成長する教育の実践

読む・聞く・書く・考える・見る・感じる・交流することを新カリキュラムで導入した教養科目の「初年度教育」や「地域生活と文化」等で意図的に行いました。入学前課題の生物基礎の試験やビブリオバトル、感謝を伝える、笹賀めぐり、信州の文化・産業・郷土食等を教材として個人の基礎学力や能力を伸ばすような取り組みを行いました。

新カリキュラムで導入した「初年度教育」では、情報リテラシーの実践として、自分の興味のある課題について情報収集し、課題論文、プレゼンテーションの作成を行いました。その上で発表原稿を書き、発表するという2年生の介護福祉研究の基礎となることを全教員の指導のもとに行いました。実習前教育としてのマナー講座や就職相談に参加するなどキャリアデザインに関することも取り組みました。

③ 看護学科

学生が成長する教育の実践

学生が「看護師になる」というモチベーションを維持できるよう、臨地実習において、オリエンテーションと個別学習を充実させ、実習中の能力不足箇所や不安面の解消に努めました。

修学不足の低下から休退学に繋がることのないようチューターによる個人指導や事務局・学科全体で個々の学生の出席・成績情報を共有し、必要に応じて個人指導を実施することを継続して努めました。その結果、2年生については退学者を除き全員が3年生へ進級することができました。令和4年度は在学学生全員が卒業、看護師国家試験合格するよう個人指導を徹底していきます。

令和3年度の看護師国家試験は55名が受験し、52名合格という結果でした。不合格となった3名については、本人の意向を確認して令和4年度に在学学生と同様の対策指導を行い、次の国家試験合格のためのフォローを行っていく予定となっています。

④ 全学科共通

学習成果を質的・量的に測定する方法の検討

学習成果の質的・量的測定については前回の第三者評価（認証評価）において「向上・充実のための課題」とされており、令和3年度は質的データとしてはFD委員会において授業評価（VOICE）や学生満足度調査、卒業生アンケート等の収集を行っています。量的データとして学位授与・卒業生数や国家試験合格者数、公務員就職者等のデータを収集しております。次回認証評価に向けた情報収集、分析、改善方法について令和4年度以降も継続して検討を行ってまいります。

2) 学生支援に関する計画

① 学生生活の支援

新入生にはあらかじめ学校として把握しておく必要のある健康に関する事項を申告していただき、学科として必要な情報は本人の同意を得た上で、共有しています。保健室では常時看護師が常駐し、学生の健康管理を行っています。メンタルヘルスで保健室の職員で対応できない場合は、外部のカウンセラーや産業医と連携し、対処しました。

② 新型コロナウイルス対策

新型コロナウイルスに関しては、前年に引き続き場合により遠隔授業の実施や食堂の利用制限、毎朝の健康チェック、手指消毒、教室のCO2の測定による換気、使用教室の消毒等感染防止策を講じました。学内で急を要する事態が発生した場合は、危機管理委員会にてスピーディーに対応方法を検討して実施に移しました。

今年度は国や県から学生に対する追加の支援策が行われ、資金面、食料品等支援が必要な学生に対して実施しました。

③ その他

休学生への復学支援

健康上の理由や家庭事情、成績結果など学生が休学を選択する理由は様々ですが、休学により学業から離れてしまうことで、修学意欲が低下してしまう学生がいるのが現状であり、休学からそのまま退学に結びついてしまう学生もいます。このような選択を学生がしなくて済むよう、学生の修学意欲を持続させるため、学校から休学生に対し様々な面において接点を持つよう努めています。また、授業料納入の負担を軽減させるため、期首からの休学であれば、授業料減免制度を設け運用しています。

各学科の休学者数は下表のとおり。

| 学科 | 令和2年度 | 令和3年度 | 差異 |
|--------|-------|-------|----|
| 幼児保育学科 | 1 | 3 | 2 |
| 介護福祉学科 | 1 | 0 | -1 |
| 看護学科 | 9 | 6 | -3 |
| 計 | 11 | 9 | -2 |

進学、就職支援

進学、就職活動支援に関しては、事務局学生部と学生支援委員会（教員組織）が連携して行っています。

学生部では、県内外の保育園、幼稚園、障害者支援施設、老人福祉施設、病院などから送付される求人票やパンフレットを施設別に整理して、関係学科別にコーナーを設けて学生の閲覧に供しています。県内求人は求人票を、県外求人は求人一覧表を学生部前の掲示板に張り出して求人情報を提供しています。

進学については、全国の大学、短期大学、専門学校から送付される入学案内などに関し、進学関連コーナーを設けて閲覧に供し、進学希望の学生には学科と連携して個別指導をしています。

令和3年度卒業生および修了生の進学、就職データは「別紙4」をご参照ください。

高等教育就学支援新制度による授業料減免

令和2年度から実施されている高等教育の就学支援新制度である授業料減免について、今年度も対象機関として認定されています。今年度にこの制度を活用した学生の実績は下表のとおりです。

| 学科 | 授業料 | | | | 入学金 | | 計(円) |
|--------|-----|------------|----|------------|-----|-----------|------------|
| | 前期 | | 後期 | | 人数 | 減免額(円) | |
| | 人数 | 減免額(円) | 人数 | 減免額(円) | | | |
| 幼児保育学科 | 26 | 5,839,000 | 26 | 6,509,900 | 10 | 1,600,100 | 13,949,000 |
| 介護福祉学科 | 9 | 1,963,600 | 9 | 1,963,300 | 5 | 733,400 | 4,660,300 |
| 看護学科 | 14 | 3,995,700 | 15 | 3,427,400 | - | - | 7,423,100 |
| 計 | 49 | 11,798,300 | 36 | 11,900,600 | 15 | 2,333,500 | 26,032,400 |

奨学金

日本学生支援機構、長野県看護職員修学資金、長野県保育士修学資金、長野県介護福祉士等修学資金、生命保険協会介護福祉士養成給付型奨学金からの奨学金受給状況は下表のとおりです。(病院からの奨学金は除く)

| 学科 | 学年 | 日本学生支援機構 | | | | 保育士 修学資 金 | 介護福 祉士等 修学資 金 | 看護職 員修学 資金 | 生命保 険協会 給付型 奨学金 | 合計 (件数) |
|--------|----|----------|----|----|----|-----------------|------------------------|------------------|--------------------------|------------|
| | | 計 | 一種 | 二種 | 給付 | | | | | |
| 幼保 | 1 | 38 | 14 | 12 | 12 | 22 | -- | -- | -- | 60 |
| | 2 | 60 | 17 | 24 | 19 | 31 | -- | -- | -- | 91 |
| 介護 | 1 | 11 | 6 | 0 | 5 | -- | 12 | -- | -- | 23 |
| | 2 | 11 | 3 | 3 | 5 | -- | 7 | -- | 1 | 19 |
| 看護 | 1 | - | -- | -- | -- | -- | -- | -- | -- | -- |
| | 2 | 38 | 15 | 13 | 10 | -- | -- | 3 | -- | 41 |
| | 3 | 35 | 12 | 18 | 5 | -- | -- | 4 | -- | 39 |
| 合計 | | 193 | 67 | 70 | 56 | 53 | 19 | 7 | 1 | 273 |
| 昨年同期 | | 223 | 75 | 95 | 53 | 62 | 22 | 9 | 1 | 317 |
| 一昨年同期 | | 149 | 60 | 82 | 7 | 54 | 31 | 8 | 1 | 243 |
| 一昨々年同期 | | 141 | 55 | 81 | 5 | 53 | 31 | 7 | 1 | 232 |

特待生

今年度の特待生は次の3名です。

幼児保育学科 2年生

介護福祉学科 2年生

看護学科 3年生

3) 入学者の受け入れに関する計画

① 入学定員確保に向けた取り組み

高校生が減少する中で、本学の幼児保育学科への応募者も減少し令和2年度入学者は定員を下回る99名となり、令和3年度では広報活動及び諸施策の見直し、強化を図りました。

高校生への情報提供では、高校生がスマホを活用しての情報収集が主流となっていることから、ホームページやリクルートほかの媒体の強化を図っています。また、高校訪問の強化や本学教員による出前授業の積極的な展開を実施しました。(令和3年度出前授業実績：赤穂高校、木曾青峰高校、大町岳陽高校、都市大塩尻高校、エクセラン高校、池田工業高校、白馬高校)

また、指定校推薦の見直し等を行いました。その結果幼児保育学科では、前年の志願者101名に対し、126名と増加を図ることができた。但し、介護福祉学科では昨年に続き定員割れとなりさらなる広報活動の強化が求められます。令和4年度から導入予定のハンドトリートメントの資格取得(大学・短大では初めての試み)を広報活動に加え、介護福祉学科の魅力を展開していく予定です。

② 入学前教育の充実

幼児保育学科では、入学後に実施する模試対策と就職に対する意識付けを目的としたSPI対策の課題を実施し、自己学習の意欲向上に努めました。また、ピアノ演奏の自己学習の課題も実施し、高校までの授業とは異なる演習科目にスムーズに取り組みよう工夫をしました。

介護福祉学科では、コロナ禍以前には、介護分野に関わる動機を確立するために高齢者の施設等へのボランティアの課題があ

りましたが、受け入れが困難な状況にあるので現在は行えていません。今年度は入学後に必要な基礎教育として、読み書き考えることと知識の定着をする目的で、指定読書の感想文と漢字検定3級程度の学習、基礎生物の「からだのしくみとはたらき」に関する単元について行っています。入学後には、漢字と生物基礎の試験を行い、チューターより読書感想文を個別に返ししながら個別面談をしています。

4) ステークホルダーとの連携に関する計画

①地域とのつながり

新型コロナウイルス感染症の拡大により、例年開催していた地域交流活動は令和2年度に引き続き自粛や中止が相次ぎました。感染防止の観点から、学生の地域での交流活動が制限されるなか、教員による出前授業や自治体の委員会活動等により、地域とのつながりを継続しています。また、地域貢献の一環として、看護師資格を持つ教員が新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場でのワクチン接種補助業務に従事しました。

例年10月に開催しているおとぎ祭は学生自治活動の一環であるが、笹賀地区に開催案内を配布し、模擬店の出店やサークル団体の発表を笹賀地区と筑北村から招待するなど積極的な交流を行っており、地域交流活動において重視している交流活動です。令和2年度に引き続き今年度も開催中止となったため、再開時には交流活動のノウハウが失われないよう、おとぎ際実行委員会（自治会）と地域交流委員会との連携を図っていく必要があります。

平成30年度より開催している松本マラソンは本学周辺がコースとなっていることもあり、学校全体でボランティア活動を積極的に行ってきましたが、令和2年度に引き続き今年度も開催が中止となりました。

②自治体との連携

本学は筑北村および、笹賀地区福祉の地域づくり協議会、松本市と包括協定・連携協定を締結しています。今年度は連携協定に基づく交流事業等を行うことができませんでした。コロナ禍でも交流が途絶えない継続的な活動を検討していく必要があります。

③その他

公開講座開催

令和3年度は、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公開講座の開催を中止いたしました。そのため、公開講座の代替事業として、情報誌「まつたん瓦版」を松本看護大学と共同で制作、地域の皆様に回覧していただきました。各学科がそれぞれの領域に係る地域住民の方に役立つ情報を地域に発信することで地域貢献活動を実施しました。

「まつたん瓦版」の発行日、内容については次のとおりです。

(発行部数：各426部)

| 回数 | 発行日 | 担当 | テーマなど |
|-----|-----------|--------------------------|---|
| 第4号 | 令和3年7月1日 | 松本短期大学 幼児保育学科 | 楽しみましょう！子育て・孫育て |
| 第5号 | 令和3年9月1日 | 松本看護大学看護学部 松本短期大学看護学科 | 新型コロナウイルスワクチン接種禍の健康管理 松本看護大学からのお知らせ |
| 第6号 | 令和3年11月1日 | 松本短期大学 介護福祉学科 | 介護の知恵袋 ～豊かに生きる～ |
| 第7号 | 令和4年2月1日 | 松本短期大学 幼児保育学科 | お子さんやお孫さんと手軽にできる“反射神経養成”運動遊び（リアクションゲーム）！！&手作り工作広場 |

4) 施設・設備の整備計画

2.(1) 学校法人松本学園 事業の概要に記載しています。

5) 運営に関する計画

① 学長のリーダーシップによる改革

松本短期大学では木内学長の指揮の下、地域との連携を進めます。学長が地域交流センター長として笹賀地区との連携窓口の役割を担い、公開講座などにも地域の皆様のニーズに応える内容となるよう積極的に努めています。これまでは学生や教職員がそれぞれ行っていた地域社会への貢献活動が、学長のリーダーシップにより全学的な取り組みへと転換してきました。

コロナウイルス感染拡大防止のため危機管理委員会を随時招集し、学生や教職員の安全・健康を考え、入学式・卒業式の時間短縮、学内への立ち入り規制や授業スケジュールなど、この状況を学校関係者全員が一丸となって乗り越えられるようリーダーシップを発揮し、教職員の意見を聴取しながら決定を行っています。

② 自己点検・評価の活発化

認証評価における評価基準が改正され、本学においても新しい評価基準により自己点検・評価活動に取り組んでいます。今年度も評価マニュアルを基にしたアンケートを全教職員に実施しました。このアンケートは1年間の自己点検を行うとともに、回答することで評価基準を目にすることができ、自己点検・評価報告書を作成する上でどのような根拠資料を提示すべきかを全教職員が認識できるように行っている自己点検・評価活動です。

前回の外部評価では、向上・充実のための課題として「学習成果を質的・量的に測定するには、各学科が定めた学位授与の方針に示された能力に対応して測定する必要があるため、工夫が望まれる」との評価を受けたことから、評価委員会および自己点検・評価委員会において単位認定状況および学位授与数の経年データ等の量的データ、授業評価や学生満足度調査、卒業生アンケート等の質的データ等の収集を行っており引き続き検討を進めています。

7) その他

① 民間活用委託訓練事業「介護福祉士養成科」訓練生の状況

介護福祉学科で受け入れを行っている民間活用委託訓練事業「介護福祉士養成科」訓練生について、令和2年度入学生4名が令和4年3月15日に卒業を果たしました。また、令和4年度入試では4名が合格し、3名が入学しました。令和3年度入学生3名について、全員が2年次に進級しました。

② 喀痰吸引等研修事業・介護福祉士実務者研修

喀痰吸引等研修事業

法改正により、介護福祉士や一定の教育を受けた介護職員等による痰の吸引等が可能となりました。本学では平成24年度より研修教育を行っています。受講生は減少傾向にありますが、令和3年度は39名が受講し、年度末までに37名が修了しました。

介護福祉士実務者研修事業

平成28年度から介護福祉士の国家試験に挑戦する「実務者ルート」では、3年以上の実務経験と450時間以上の実務者研修を修了していることが必要となりました。本学では、通信課程の介護福祉士実務者研修を行うための指定を受け、平成26年度からこの研修を開始しました。平成30年度より、ユマニテク医療福祉大学校（学校法人みえ大橋学園）と業務提携を行い、研修を実施しています。令和3年度の受講者は6名でした。

③ FD・SD活動

授業評価

- ・授業評価（VOICE）では該当科目教員が関わらないように回収。（学生がより率直な意見を書きやすくするため）
- ・自由記載の部分はワードで打ち直して該当教員へ配布予定。

学生満足度調査

- ・年度末にインターネット（Microsoft Forms）を利用したアンケートを実施。結果については拡大教授会にて配布しました。

FD研修会

- ・演題：障害者差別解消法改正が意味するもの
講師：尻無浜博幸氏（松本大学総合経営学部 教授）

日時：令和3年9月22日（水）13：00-14：30

備考：FD/SD 合同研修会として実施、松本看護大学教員も参加

・学科別 FD 研修会

「Teams の活用方法について学ぶ」を共通の研修テーマとして学科単位での研修会を実施しました。幼児保育学科が2回、介護福祉 学科が1回、事務職員を講師として Teams の操作方法、授業での活用方法について学びました。

④ 図書館

「松本短期大学研究紀要第32号」を令和4年3月31日付けで発刊しました。

令和4年3月末現在 蔵書数 図書 52,195 冊、DVD 他視聴覚教材 1,810 点（松本看護大学・松本短期大学としての蔵書数）

<今後の課題>

- ・入学生確保（志願者数の増加対策検討）
- ・地域との連携強化
- ・学生の満足度向上
- ・学内ハラスメントの抑止
- ・新型コロナウイルスに係る対応（感染防止、リモート授業等）
- ・施設・設備整備計画の具現化

参考 令和3年度の各学科の学生動向は下表のとおり。

| 学科 | 年度当初在籍者数 | 退学者数 | 除籍者数 | 卒業者数 | 年度末在籍者数 |
|--------|----------|------|------|------|---------|
| 幼児保育学科 | 194 | 5 | 0 | 94 | 95 |
| 介護福祉学科 | 60 | 0 | 0 | 26 | 34 |
| 看護学科 | 127 | 14 | 0 | 55 | 58 |
| 計 | 381 | 19 | 0 | 175 | 187 |

(3) 松本短大幼稚園 事業の概要

<計画の進捗状況>

幼稚園部

1. 令和3年度の取り組み

令和2年度4月より、幼稚園型認定こども園として幼稚園部と保育園部の教育、保育が始まりました。

(1) 幼稚園の教育方針

幼稚園での教育は、生きる力の基礎を培うため、保育者の指導のもと毎日の生活や、様々な活動や体験、遊びを通しての学びを大切にしながら、その後の教育の基礎が培われることを大切にしながら保育を行っています。文部科学省から施行されている「幼稚園教育要領」の指導内容を基に、幼稚園独自の創意工夫を加えて、幼稚園の教育目標を定め保育を行い、「幼稚園教育要領」のなかで、特に ①生きる力の基礎の育成

②豊かな心と健やかな体の育成

この二点に力を入れ指導を行い、指導の内容としては、下記の五つの領域をあげています。

- ①健康な心と体を育てる領域……「健康」
- ②自立心、人との関わりに関する領域……「人間関係」
- ③思考力の基礎を育てる領域……「環境」
- ④言葉の獲得に関する領域……「言葉」
- ⑤感性と表現に関する領域……「表現」

この五領域の指導内容を基本に、松本短大幼稚園で特に力を入れて指導する内容として、下記の4つの柱をあげています。

ア. 気づいて、試して学ぶ力

学びのある遊びや、さまざまなことに気づき、試しながら活動をして遊ぶ楽しさを経験、体験。また、外国人の先生による英語に触れ、異文化に関わる体験をする。

イ. できた、できたが増える力

運動プログラムや、山雅スポーツ指導を通して、体や心の健全な成長を願い、運動遊びを通して、できた!できた!が増え、自信と意欲を育てる。

ウ. 気持ちがつながる力

異年齢の関わり、集団で関わることにより、思いやりや 気持ちがつながる力を身に着ける。

エ. 見て触れて、感じる力

信州型自然保育の取り組みにより、自然の中でのびのび遊び、自己充実の活動をおこなう。

この4つの柱の指導内容のもと、幼稚園の生活や体験、遊びを通しての 総合的な学びを日々大切にしながら保育を行い、短大幼稚園の特徴ある指導の取り組みとして、毎月の運動プログラムの 取り組み、また英語教育では、外国人講師の先生においで頂き 英語や異文化に触れる体験もおこなっています。そして長野県ならではの、信州型自然保育に取り組み、昆虫飼育や野菜づくり、園外保育で自然に触れる活動を行ない、自己充実のための保育や 活動を大切にしています。

このような4つの柱の設定により、指導内容をより明確に、具体的にすることができた。そして、日々の生活のなかで、一人ひとりの子ども理解を深め、子どもに寄り添い、一人ひとりの指導のねらいをもち、保育を行うことを心がけ、日々の遊び、活動、体験の様子を記録して保育を省みて、明日の保育へとつなげていくことにしています。

(2) 3年度の幼稚園教育内容

今年度は、コロナ禍2年目となり感染予防の対策をとり、4月より全員そろっての保育が始まりました。特に「保育の見える化」に力を入れ、運動会、クリスマス会、ひな祭り会などの活動を通して、クラス全体の子ども達の、活動における取り組みの様子を写真に撮り、活動に取り組む様子、その時の保育者の思いを重ねて子どもの育ちを分析していくドキュメント

シートを作成しました。活動中の子ども達の写真を撮り、その様子を観ることにより、より細かく子ども達の表情、様子や、子ども達の育ちを理解することができ、クラス運営や指導のため役立ったと考えています。

幼稚園の特色ある指導においては、

ア. 気づいて、試して学ぶ力では

日々の生活や、学びのある遊びの環境設定、遊びからの学びを大切にしながら、毎月、2回～4回の外国人の先生による、英語に触れる体験や活動を行い、生活のなかにも英語を取り入れる機会を作りました。

イ. できた できたが増える力では

運動プログラムを通して、体や心の健全な成長を願い、運動遊びを通して、できた、できたが増え、自信がつき意欲的に行動できるようになり、運動会には保護者の皆さんに、年少組、年中組、年長組のそれぞれの運動遊びの取り組みを発表し見ていただきました。

ウ. 気持ちがつながる力では

異年齢で園外保育に出かけ、お兄さん、お姉さんにあこがれの気持ち、小さい子ども達を思いやる気持ちをもてた。また、松本短大の学生さんが幼稚園に交流で来てくれ、短大の授業に園児も参加させていただき、学生さんとの楽しい交流活動をすることができました。

エ. 見て触れて、感じる力では

信州型自然保育の取り組みにより、昆虫を育てたり、野菜を育て収穫したり、園外保育に出て自然に触れたり、年長組は弘法山での遊び、林業センターでの山遊びに取り組みました。

2. 園児数の概要

①3年度園児数

| | | | | | |
|-------|-------|----|-----|----|-----|
| 入園児 | 年少40名 | 年中 | 0名 | 年長 | 0名 |
| 在園児 | 0名 | | 43名 | | 30名 |
| 計 | 40名 | | 43名 | | 30名 |
| ・1号認定 | 29名 | | 29名 | | 23名 |
| ・2号認定 | 11名 | | 14名 | | 7名 |

②満3歳児入園 12名

③年間転入児（転園・転勤） 0名

④年間転出児（転勤・転居・転園等） 3名

3. 保護者とのかかわり

①幼稚園行事への参加 ・なし

②保育参観、年間2回 ・玄関訪問 ・個別懇談会 ・学級懇談会1回

4. 園内研究保育や、園外の研修会参加

①園内研修会 1/14・3/3 … ドキュメントシートづくり

②新任者研修 9/4 … オンライン研修

5. 教育実習受け入れ・短大授業参加等

①松本短期大学2年生 実習 6名・6/7～6/18（見学観察実習・部分実習・半日実習・一日実習・研究保育）

②松本短期大学2年生 実習 7名・6/21～7/2（見学観察実習・部分実習・半日実習・一日実習・研究保育）

③松本短期大学1年生 実習 7名・11/1～11/15（見学観察実習・子どもたちとのかかわり・部分実習）

④松本短期大学1年生 実習 8名・11/11～11/30（見学観察実習・子どもたちとのかかわり・部分実習）

⑤松本短期大学2年生の教育実践演習における実習参加 年中、年長組64名・10/13

6. 預かり保育、未就園児親子教室、体験保育

①年間 1号認定預かり人数 ・ 2, 541名

- ・ 夏休み預かり保育 13日間 84名
- ・ 冬休み預かり保育 4日間 21名
- ・ 春休み預かり保育 6日間 54名

②年間 2号認定特別保育

- ・ 土曜日希望保育 50日 231名
- ・ お盆特別保育 3日 13名
- ・ 年始特別保育 1日 5名

③未就園児親子教室 毎月平均 親子 20組程参加

未就園児親子教室の活動内容

- ・ 4月、 2回・幼稚園での遊び、砂遊び
- ・ 5月、 2回・こいのぼり製作、運動あそび
- ・ 6月、 1回・かたつむり製作、(1回中止)
- ・ 7月、 1回・七夕飾り製作
- ・ 8月、 1回・入園説明会
- ・ 9月、 (1回中止)
- ・ 10月、 1回・ハロウィンごっこ、(1回中止)
- ・ 11月、 2回・七五三製作、運動あそび
- ・ 12月、 1回・クリスマス会
- ・ 1月、 1回・お正月の遊び、(1回中止)
- ・ 2月(1回中止)

年間 10回を行う コロナ禍感染予防のため5回中止となりました

④体験保育

- ・ 7月 6月日 ・年長組とお店屋さんごっこ (6月中止)

7. 園外保育

- ①今井ブルー ・ 6/21、22、28、29、30 7/14、15
- ②松本見学 ・ 10/30 (中止)
- ③消防署見学 ・ 11/19

8. 特別保育活動

- ①運動保育士の先生による、課外運動遊びの指導を、毎月1～2回、運動遊び指導希望者が、保育終了後 指導を受けました。
- ②山雅サッカースポーツクラブの運動指導を6月から2月まで、毎月1回の指導を受けました。
・年間、年少組 2回、年中組 8回、年長組 10回の指導を受けました。
- ③外国の先生による、英語教室の指導を学年ごとに、6月より受けました。 月1回～3回

9. 今後の課題

〈教育内容のさらなる充実〉

①遊びを通しての学び、遊びからの学びを大切にして、学びのある遊びを環境設定して子ども達に提供していきます。

②ポートフォリオで、子ども達の育ちの様子を知らせていきます。

子ども達の育ちの瞬間、子ども達が頑張っている瞬間、夢中になり取り組む、困っている時、友達との関わり等、その写真に対する保育者の思いも書きながら、子ども達の育ちの瞬間を写真にとり、成長の様子を保護者に知らせていきます。

〈未就園児教室の充実〉

- ①保育補助の先生に入っていただき手厚い保育を行います。
- ②未就園児教室のほかに、幼稚園開放日を毎月1回行い、ひよこ組以外の皆さんにも気軽に幼稚園においでいただき、幼稚園を知っていただくようにしていきます。
- ③多くの入園児を確保していきます。

保育園部

幼稚園型認定こども園として、令和2年4月より保育園部が開園し、保育園を経験された先生方を中心に、年間指導計画、期ごとの指導計画、週案、日案を立て、指導の反省を行い、一人ひとりの様子を記録に残し子どもの育ちを確認しました。そして保育園ならではの、チーム保育に取り組み、保育者皆で協力し合い保育をおこない、3年度も、コロナウイルス感染予防対策をとりながら、保育を進めました。

1. 保育園部の乳幼児期の指導のねらい

①健やかに伸び伸びと育つ

- ・健康な心と体を育て、安全な生活をつくりだす基礎を培う。
- ・身体感覚が育ち伸び伸び活動する。
- ・食事、睡眠、排泄等のセス活リズムの感覚が芽生える。

②身近な人と気持ちが通じ合う

- ・身近な大人との信頼関係を育て人とかかわる力の基礎を培う。
- ・身近な人と親しみ、かかわりを深め、信頼感が芽生える。

①身近なものとかかわり 感情が育つ

- ・身近なものに、親しみや興味好奇心を持つ。
- ・身近な環境に、見る、触れる、探求する等自分から関わろうとする。

2. 保育園部での指導、活動の取り組み

(1) 保育者と一緒に生活をしながら、生活習慣を学んだり、保育者と一緒に遊んだり、様々な活動をしたり、好きな遊びをおこない、遊びを通しての学びを大切にします

①子どもの発達状態、興味等を考慮して「遊びの環境設定」を行い、保育者と一緒に遊んだり、自分の好きな遊びに取り組みました。

②保育者と一緒に、遊ぶ、食べる、睡眠をとる、おむつ交換や排泄を行い、生活習慣を身に付けました。

③四季折々の季節に応じた遊びを大切にします。

- ・4月、5月 …園庭での遊び、砂遊び、散歩で体力づくりや自然と関わりました。
- ・6月、7月、8月…水遊び、プール遊び。
- ・9月、10月、11月…園庭での遊び、散歩で体力づくりや自然と関わりました。
- ・12月、1月、2月…室内遊び、雪遊び。
- ・3月…園庭での遊び、砂遊び、散歩で体力づくりや自然と関わりました。

④四季の行事を知り、体験しました

- ・5月…端午の節句、鯉のぼり
- ・7月…七夕
- ・11月…やきいも会
- ・12月…クリスマス会、餅つきごっこ
- ・1月…お正月、獅子舞
- ・2月…節分

- ・ 3月…ひな祭り

⑤丈夫な体づくりや、自然に触れる四季折々の散歩

- ・ 4月 … 8回 ・ 10月 … 6回 ・ 3月 … 9回
- ・ 5月 … 8回 ・ 11月 … 7回
- ・ 6月 … 2回 ・ 12月 … 5回
- ・ 7月 … 0回 ・ 1月 … 7回
- ・ 9月 … 3回 ・ 2月 … 5回

⑥散歩の場所

- ・ 幼稚園の裏の公園、9丁目公園、6丁目の公園、5丁目の公園、3丁目の公園、松原中央公園、松原南部公園、松原時計台、馬場家住宅

⑦毎月の製作活動

- ・ 毎月、保育者と一緒に製作活動を行いました。

(2) 健康及び環境衛生

- ②登園時の体温測定、健康観察、保育中の体調変化に応じて保護者連絡等のより体調管理を行いました。
- ①保育室内外に危険な場所がないか、点検対応を行い怪我の防止に努めました。

(3) 食育の推進

- ①自園給食にともない 給食を自分で食べようとする意欲を育て、手を使い、スプーンフォークを使用して食べるように努めました。
- ②好き嫌いなく、なんでも食べられるように努めました。

(4) 防災、避難訓練

- ①毎月1回の避難訓練を行いました。
 - ・ 火災想定避難訓練
5月、7月、10月、11月、3月
 - ・ 地震想定避難訓練
6月、8月、9月、12月、1月、2月

(5) 職員、保護者行事の参加

- ①職員玄関訪問 …4/23、25、28、30、5/6、7、10…玄関訪問にて子どもさんの様子を伝えました。
- ②学級懇談会 …5/26
- ③保護者引き渡し訓練 …9/1 地震発生の保護者引き渡し訓練を行いました。
- ④運動会 … 9/28 保育園部運動会。
- ⑤「おおきくなったね会」…2/18 進級前の子ども達の活動発表の様子を見て頂き園児の成長の様子を知っていただきました。

3. 2年度保育園部の状況

①2年度園児数

- ・ 0歳児 … 0名
- ・ 1歳児 … 16名
- ・ 2歳児 … 17名 計 33名

②年間途中入園

- ・ 0歳児 … 3名
- ・ 1歳児 … 6名
- ・ 2歳児 … 4名

③年度途中退園者

- ・ 0歳児 … 0名
- ・ 1歳児 … 4名
- ・ 2歳児 … 7名 ◎幼稚園部へ移動→1名

④年間保育日数 … 294日 (3月休園 3月30日、31日 2日間)

4. 子育て支援の取り組み

- ①土曜日希望保育日 年間50日開園 土曜保育参加者 264名
- ②新年度特別希望保育 2日間開園 参加数 9名
- ③夏季特別希望保育 3日開園 参加者 5名
- ④年始特別希望保育 1日開園 参加者 6名
- ⑤年度末特別保育 4日開園予定(2日開園) 参加者 12名

5. その他の取り組み

- ①園児の様子を、写真を通して保護者の方々に知っていただくために、月2回の「あゆみ」のおたよりに写真を掲載してお知らせしました。
- ②園児の昼寝をしている時間を利用して、職員の打ち合わせ、保育について話し合い、保育者同士の関わり合い、協力体制を深めました。
- ③保護者の園内活動軽減を図るため、今年度をもって保護者会を閉じました。

6. 今後の課題

- ・「保育環境の中で一番大切なのは、保育者である」ということを心して、保育者皆で協力し合い、保育を進めていきます。

補助金を活用した施設・設備の整備状況

1 長野県補助金 教育支援体制整備事業（幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業）「園務改善のための ICT 化支援分」

事業内容 らくらく検温システムの導入(サーマルカメラ1台、非接触体温計7台、ノートパソコン1台)

施工業者 株式会社ワイイーシーソリューションズ他

総事業費 1,059,630 円

補助金額 739,000 円

2 長野県補助金 教育支援体制整備事業（幼児教育の質の向上のための緊急環境整備事業）「園務改善のための ICT 化支援分」

事業内容 教員用ノートパソコン整備(ノートパソコン6台)

施工業者 キッセイコムテック株式会社

総事業費 702,680 円

補助金額 520,000 円

3 長野県補助金 教育支援体制整備事業（認定こども園設置促進事業）「新型コロナウイルス感染症対策分」

事業内容 新型コロナウイルス感染症対策として消耗品整備（使い捨て歯鏡、体温計）

納入業者 アズサイエンス株式会社ほか

総事業費 249,400 円

補助金額 243,000 円

3 長野県補助金 「子どもの居場所」木質空間整備事業（再掲）

事業内容 砂場の日よけ整備

納入業者 設計・監理：(株)伊藤建築設計、施工：(株)国興

総事業費 設計：440,000 円、監理：165,000 円、施工：3,707,000 円

補助金額 1,685,000 円

4 松本市補助金 私立幼稚園等建設補助金（再掲）

事業内容 組み立て用プールの格納場所として倉庫 1 棟を整備

納入業者 株式会社カクイチ

総事業費 設計・監理：330,000 円、施工：2,941,510 円

補助金額 980,000 円

3. 財務の概要

(1) 収支の状況

過去5年間の収支の推移は、[別紙9]のとおりである。事業活動収入が、令和3年度においては前年度より約303,468千円減の約803,969千円となっている。この収入減は、令和2年度は、松本市より3億円の4年制大学設立に伴う補助金があったため、実質は、約3,468千円の減である。事業活動支出は前年度より約56,635千円増の約933,970千円となっている。これは、松本看護大学を設置したが、まだ、学生は1学年のみに留まり、松本短期大学看護学科には、2、3年生が在籍しており、専任教員は、兼ねることができなく、大学にも設置基準以上の専任教員が必要とされ、また、短大の看護学科にも学生は2、3年生だけであるのに、設置基準以上の専任教員を置かざるを得ないため、人件費が高騰している。また、新たな学校設立により、経費が例年以上にかさんでいることも影響している。また、国からの経常費補助金が、短大は、補助対象外となっており、大学のみ補助対象となっているが、学生は補助対象であるが1年生のみ在籍しているため、補助金額が少なくなっている。また、介護福祉学科は、相変わらず定員割れをしており、幼児保育学科がこの学園の経営を支えている現状である。幼稚園も、経常収支は以前よりは改善されてきているとはいえ、マイナスである。令和4年度は、まだ、短大看護学科が存在しており、収支の改善は、あまり望めない。基本金組入前収支差額は、前年度が約230,102千円であったのに対し、令和3年度はマイナスの約130,001千円となっており、前年度と比べて、大幅に減額となっている。また、基本金組入後の収支差額は、前年度に比べ、マイナスの約376,685千円となっている。短大の看護学科が廃止となれば、収支は改善されるものと見込まれる。

また、現金・預金は令和2年度に比べ、約316,544千円減の約563,475千円となっているが、これは、借入金利息支払いと借入金の一括返済が、約226,554千円となっており、また、新しい学校設置のため、施設設備は準備したが、まだ、足りないものが生じ、設置購入したのものと、松本短期大学が創立50周年を迎え、50周年記念として、オープンテラスを設置し、50周年記念誌を作成配布したためでもある。令和4年度は、施設設備の購入をなるべく抑えていく必要が有る。

(2) 主要な財務比率について

本学の令和2年度、3年度の財務比率及び令和2年度の全国短大法人平均財務比率は、[別紙10]の通りである。経営状況を示す事業活動収支差額比率（基本金組入前収支差額を事業活動収入で除したもの）においても、全国平均がマイナス0.5%（令和2年度）であるのに対し、本学は平成2年度が20.8%であったのに対し、令和3年度はマイナス16.2%となっており、マイナスは有ってはならない数字であり、経営状況は、非常に悪化していると言えよう。人件費比率は、令和2年度は71.2%、令和3年度は77.1%で全国平均（令和2年度は、61.9%）を大幅に上回っている。経営的には50%以下が望ましいと言われており、今後とも人件費の削減に取り組んでいく必要がある。ただ、令和4年度末において、短大看護学科の廃止が是非必要とされる。

(3) 主な施設・設備の整備状況

令和4年度は、現金預金の減少を抑えるため、なるべく、施設・設備の整備は、必要最小限に留める必要が有る。また、施設・設備も一応整備されたので、取替え更新程度に抑えていく必要が有るものと思われる。

学校法人松本学園 役員・評議員名簿

令和4年3月31日現在

| 職名 | 氏名 | 選任条項 | | 備考 |
|---------|-------|-------------|--------|-------------|
| 理事長・評議員 | 銭坂久紀 | 5-2 / 6-1-1 | 21-1-1 | |
| 理事・評議員 | 木内義勝 | 6-1-1 | 21-1-1 | |
| 理事・評議員 | 三井経光 | 6-1-2 | 21-1-3 | |
| 理事・評議員 | 伊佐治裕子 | 6-1-2 | 21-1-3 | 令和3年5月27日就任 |
| 理事・評議員 | 玉井和宏 | 6-1-2 | 21-1-1 | 令和3年5月27日就任 |
| 理事・評議員 | 上條温 | 6-1-3 | 21-1-3 | |
| 理事・評議員 | 上條節子 | 6-1-3 | 21-1-3 | |
| 理事・評議員 | 柳澤秋孝 | 6-1-3 | 21-1-3 | 令和3年5月27日就任 |
| 監事 | 伊藤隆 | 7-1 | — | |
| 監事 | 松川幸寛 | 7-1 | — | |
| 評議員 | 高山知佳 | — | 21-1-1 | |
| 評議員 | 渡邊涉 | — | 21-1-1 | |
| 評議員 | 手塚富喜子 | — | 21-1-2 | |
| 評議員 | 鳥羽寿々子 | — | 21-1-2 | |
| 評議員 | 林慎也 | — | 21-1-2 | |
| 評議員 | 柳沢佳澄 | — | 21-1-2 | |
| 評議員 | 窪田高明 | — | 21-1-3 | |
| 評議員 | 三村幸人 | — | 21-1-3 | |
| 評議員 | 竹岡雄一郎 | — | 21-1-3 | 令和3年5月27日就任 |

令和3年度 専任教職員

別紙2

令和4年3月31日現在

| No. | 職名 | 氏名 | | | |
|-----------------|--------------|--------|--|--|--|
| 1 | 理事長 | 錢坂久紀 | | | |
| 2 | 松本看護大学 学長・教授 | 上條節子 | | | |
| 3 | 松本短期大学 学長・教授 | 木内義勝 | | | |
| 【松本看護大学 看護学部】 | | | | | |
| 4 | 副学長・学部長・教授 | 小林たつ子 | | | |
| 5 | 教授 | 今井栄子 | | | |
| 6 | 教授 | 金子潔子 | | | |
| 7 | 教授 | 三輪憲永 | | | |
| 8 | 教授 | 百瀬ちどり | | | |
| 9 | 教授 | 原岡智子 | | | |
| 10 | 教授 | 藤川君江 | | | |
| 11 | 教授 | 鮎川昌代 | | | |
| 12 | 教授 | 小林由美 | | | |
| 13 | 准教授 | 関永信子 | | | |
| 14 | 准教授 | 横山芳子 | | | |
| 15 | 講師 | 高下梓 | | | |
| 16 | 助手 | 荻久保弘子 | | | |
| 17 | 助手 | 里見明子 | | | |
| 【松本短期大学 幼児保育学科】 | | | | | |
| 18 | 学科長・教授 | 内藤美智子 | | | |
| 19 | 教授 | 生田恵津子 | | | |
| 20 | 教授 | 山田真治 | | | |
| 21 | 教授 | 鈴木美枝子 | | | |
| 22 | 准教授 | 白金俊二 | | | |
| 23 | 准教授 | 山藤宏子 | | | |
| 24 | 講師 | 松澤高志 | | | |
| 25 | 講師 | 米窪洋介 | | | |
| 26 | 助教 | 山田裕一 | | | |
| 【松本短期大学 介護福祉学科】 | | | | | |
| 27 | 学科長・教授 | 丸山順子 | | | |
| 28 | 教授 | 合津千香 | | | |
| 29 | 教授 | 永石喜代子 | | | |
| 30 | 准教授 | 福田明 | | | |
| 31 | 講師 | 齋藤真木 | | | |
| 32 | 講師 | 武井浩子 | | | |
| 【松本短期大学 看護学科】 | | | | | |
| 33 | 学科長・教授 | 宮坂光長 | | | |
| 34 | 教授 | 倉科恵里 | | | |
| 35 | 教授 | 西沢三代子 | | | |
| 36 | 講師 | 垣内いづみ | | | |
| 37 | 講師 | 清沢京子 | | | |
| 38 | 講師 | 五十嵐佳寿美 | | | |
| 39 | 講師 | 等々力菜美 | | | |
| 40 | 講師 | 塩澤綾乃 | | | |
| 41 | 助教 | 畔上一代 | | | |
| 42 | 助教 | 山下照美 | | | |
| 43 | 助教 | 大谷健史 | | | |
| 44 | 助教 | 牛山陽介 | | | |
| 45 | 助教 | 黒澤多美子 | | | |
| 46 | 助手 | 笠原潮美 | | | |
| 【事務局】 | | | | | |
| 47 | 法人事務局長 | 玉井和宏 | | | |
| 48 | 看護大事務長 | 竹岡雄一郎 | | | |
| 49 | 短大事務長 | 渡辺渉 | | | |
| 50 | 学生部長 | 渡邊正範 | | | |
| 51 | 主任 | 荒井京子 | | | |
| 52 | 主任 | 小松昭和 | | | |
| 53 | 主任 | 大和由美子 | | | |
| 54 | 主任 | 山本勇 | | | |
| 55 | 主任 | 藤森永理子 | | | |
| 56 | 図書館司書 | 下澤純奈 | | | |
| 57 | 主任 | 丸山香織 | | | |
| 58 | 主任 | 花村仁美 | | | |
| 59 | 主任 | 坂井祐二 | | | |
| 60 | 主任 | 上條美穂子 | | | |
| 61 | 主任 | 澤田麻貴 | | | |
| 62 | 主任 | 青柳円 | | | |

令和3年度 松本看護大学・松本短期大学 非常勤講師住所録

令和3年度 松本看護大学・松本短期大学 非常勤講師名簿

別紙3

令和4年3月31日現在

| No. | 職名 | 氏名 | | | |
|-----|-------|-----------------|--|--|--|
| 1 | 非常勤講師 | 飯 島 恵 道 | | | |
| 2 | 非常勤講師 | 飯 田 し の ぶ | | | |
| 3 | 非常勤講師 | 市 川 元 基 | | | |
| 4 | 非常勤講師 | 伊 東 和 広 | | | |
| 5 | 非常勤講師 | 伊 藤 真 之 助 | | | |
| 6 | 非常勤講師 | 岩 垂 (高 倉) 美 和 | | | |
| 7 | 非常勤講師 | 漆 戸 敏 夫 | | | |
| 8 | 非常勤講師 | 岳 鳳 鳴 | | | |
| 9 | 非常勤講師 | 金 枝 真 佐 尋 | | | |
| 10 | 非常勤講師 | 鎌 倉 哲 子 | | | |
| 11 | 非常勤講師 | 亀 井 智 泉 | | | |
| 12 | 非常勤講師 | 川 上 由 行 | | | |
| 13 | 非常勤講師 | 行 田 輝 廣 | | | |
| 14 | 非常勤講師 | 黒 澤 優 子 | | | |
| 15 | 非常勤講師 | 後 藤 泰 一 | | | |
| 16 | 非常勤講師 | 小 林 辰 也 | | | |
| 17 | 非常勤講師 | 小 松 芳 郎 | | | |
| 18 | 非常勤講師 | 齊 藤 俊 子 | | | |
| 19 | 非常勤講師 | 澤 野 紳 二 | | | |
| 20 | 非常勤講師 | 武 居 み さ | | | |
| 21 | 非常勤講師 | 田 所 治 | | | |
| 22 | 非常勤講師 | 豊 嶋 さ お り | | | |
| 23 | 非常勤講師 | 中 倉 典 子 | | | |
| 24 | 非常勤講師 | 中 村 千 鶴 子 | | | |
| 25 | 非常勤講師 | 杉 山 (中 山) 佳 子 | | | |
| 26 | 非常勤講師 | 西 澤 弘 行 | | | |
| 27 | 非常勤講師 | 野 田 あ ゆ 子 | | | |
| 28 | 非常勤講師 | 原 田 春 海 | | | |
| 29 | 非常勤講師 | 藤 原 奈 佳 子 | | | |
| 30 | 非常勤講師 | 古 屋 顯 一 | | | |
| 31 | 非常勤講師 | 益 山 代 利 子 | | | |
| 32 | 非常勤講師 | 水 野 尚 子 | | | |
| 33 | 非常勤講師 | 宮 脇 千 史 | | | |
| 34 | 非常勤講師 | 山 口 真 理 | | | |
| 35 | 非常勤講師 | 山 下 恵 子 | | | |
| 36 | 非常勤講師 | 輪 湖 直 子 | | | |

松本短期大学 令和3年度 進路状況

令和4年3月現在

| 学科等 | 卒業者数(名) | 就職 | | | 進学 | 就職希望なし |
|------|---------|---------|---------|------|---------|--------|
| | | 希望者数(名) | 内定者数(名) | 内定率 | 決定者数(名) | 家居(名) |
| 幼児保育 | 94 | 88 | 88 | 100% | 1 | 5 |
| 介護福祉 | 26 | 25 | 25 | 100% | 1 | 0 |
| 看護 | 55 | 52 | 51 | 98% | 0 | 3 |
| 計 | 175 | 165 | 164 | 99% | 2 | 8 |

<幼児保育学科>

県内就職者81名、県外就職者6名、進学者1名

| | 合計(名) | 就職者に占める割合 | 備考 |
|-------------|-------|-----------|------------------|
| 公務員 | 34 | 35.8% | 正規16、非正規18、保育士34 |
| 私立保育園 | 14 | 14.7% | |
| 私立幼稚園 | 2 | 2.1% | |
| 私立認定こども園 | 11 | 11.6% | |
| 乳児院・児童養護施設等 | 5 | 5.3% | 乳児院2、児童養護施設3 |
| その他の社会福祉施設 | 19 | 20.0% | |
| 一般企業 | 3 | 3.2% | |
| 進学 | 1 | — | 日本福祉大学 |
| 家居 | 5 | — | |
| 合計(名) | 94 | 92.6% | |

<介護福祉学科>

県内就職者25名、県外就職者0名、進学者1名

| | 合計(名) | 就職者に占める割合 | 備考 |
|-------------|-------|-----------|--------------|
| 特別養護老人ホーム | 13 | 48.1% | |
| 介護老人保健施設 | 5 | 18.5% | |
| 訪問介護 | 1 | 3.7% | |
| デイサービス | 2 | 7.4% | |
| 地域密着型老人福祉施設 | 2 | 7.4% | |
| 一般企業等 | 2 | 7.4% | |
| 進学 | 1 | — | 長野大学社会福祉学部1名 |
| 家居 | 0 | — | |
| 合計(名) | 26 | 92.6% | |

<看護学科>

県内就職者48名、県外就職者3名、進学者0名

| | 合計(名) | 就職者に占める割合 | 備考 |
|-----------|-------|-----------|-------------------------------|
| 県内病院 | 46 | 67.6% | |
| 県内グループホーム | 2 | 2.9% | 介護員として就職 |
| 県外病院 | 3 | 4.4% | 災害医療センター、名古屋第一赤十字聖マリアンナ医科大学病院 |
| 進学 | 0 | 0.0% | |
| 合計(名) | 51 | 75.0% | |

| 4 月 | | 5 月 | | 6 月 | | 7 月 | | 8 月 | | 9 月 | | | | | |
|---------------------------------------|--|--------|--|--|---|-----------------------|---|---------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------------|---|---------------------------------|---|------------------------------|------|
| 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | | | | |
| 1 木 辞令交付 | 拡大教授会 学科会(全学科) 学生支援委員会 | 1 土 | | 1 火 看護1年(午後:レントゲン) FD委員会 3限(大学) | 短大 看護2・3年(午後:レントゲン) | 1 木 自己点検・評価委員会 3限(大学) | | 1 日 | | 1 水 大学紀要委員会 2限(大学) 学生支援委員会 4限(大学) | 学科会(看護) 入試委員会+FD研修会① | | | | |
| 2 金 13:00～全体会議 | 松本短期大学 入学式 松本短大幼稚園入園式 | 2 日 | | 2 水 大学紀要委員会 2限(大学) 新カリPJ 3限(大学) 学生支援委員会 4限(大学) | 短大 幼・介(午後:レントゲン) 学科会(看護) 教育課程・入試委員会 | 2 金 | | 2 月 | | 2 木 自己点検・評価委員会 3限(大学) | 実務者研修スクーリング④ | | | | |
| 3 土 松本看護大学 入学式 | | 3 月 | 憲法記念日 | 3 木 図書委員会 2限(大学) 自己点検・評価委員会 3限(大学) | | 3 土 | | 3 火 FD委員会 3限(大学) | 前期期末試験(幼1・2)8/3～5 | 3 金 | | | | | |
| 4 日 | | 4 火 | みどりの日 | 4 金 補講日 | | 4 日 | | 4 水 大学紀要委員会 2限(大学) 学生支援委員会 4限(大学) | 学科会(幼・介・看護) 教育課程・入試委員会 | 4 土 | | | | | |
| 5 月 オリエンテーション | オリエンテーション(履修登録) | 5 水 | こどもの日 | 5 土 | | 5 月 | | 5 木 図書委員会 2限(大学) 自己点検・評価委員会 3限(大学) | | 5 日 | | | | | |
| 6 火 オリエンテーション [午前:web履修登録、午後:内科検診] | オリエンテーション(健康診断:内科検診のみ) | 6 木 | | 6 日 | | 6 火 | FD委員会 3限(大学) | 6 金 夏期休暇 8/6～9/24 | オープンキャンパス(短大) 夏季休業(幼)8/6～9/22 | 6 月 | 喀痰吸引研修③演習 | | | | |
| 7 水 オリエンテーション [午前:テキスト販売] | オリエンテーション 午前:テキスト販売 | 7 金 | FD委員会(大学) | 7 月 | 教育実習(幼2)～6/18 個別援助技術実習(介2)6/7～29 | 7 水 | 広報企画推進委員会(共通) 大学紀要委員会 2限(大学) 学生支援委員会 4限(大学) | 学科会(看護) 教育課程・入試・広報企画推進委員会 | 7 土 | オープンキャンパス(大学) | 7 火 | FD委員会 3限(大学) 喀痰吸引研修③演習 | | | |
| 8 木 前期授業開始 | 前期授業開始(全学科)予定 | 8 土 | | 8 火 | | 8 木 | | 8 日 | 山の日 | 8 水 | 広報企画推進委員会(共通) 実習委員会 4限(大学) 広報企画推進委員会 | 学科会(幼・介) FD研修会② 広報企画推進委員会 | | | |
| 9 金 | | 9 日 | | 9 水 | 広報企画推進委員会(共通) 教務委員会 2限(大学) | 9 金 | | 9 月 | 振替休日 | 9 木 | 前期成績最終メット10:00まで | 実務者研修スクーリング⑤ | | | |
| 10 土 | | 10 月 | 臨時教授会(コロナ発生について) 9:00～ リモート授業5/10～22(2週間) | 10 木 | 開学記念日 リモート授業5/10～22(2週間) | 10 土 | オープンキャンパス(大学) | 健康と運動Ⅱ:レクゲーム(学修) (幼2)(終日) | 10 火 | | 10 金 | 教務委員会 2限(大学) 実習委員会 4限(大学) | 11 土 | 介護福祉学科オープンキャンパス 喀痰吸引研修③演習 | |
| 11 日 | | 11 火 | | 11 金 | 臨時試験日 | 11 日 | | 11 水 | 教務委員会 2限(大学) 実習委員会 4限(大学) | 11 土 | FD委員会 | 11 日 | 介護福祉学科オープンキャンパス 喀痰吸引研修③演習 | | |
| 12 月 | | 12 水 | 広報企画推進委員会 13:00～(共通) 新カリPJ 1限(大学) 学生支援委員会(大学)14:00～ | 12 土 | 実習指導者連絡会(介) 学科会(幼・介) 教育課程・広報企画推進委員会 | 12 月 | 基礎看護学実習Ⅰ7/12～16 | 12 木 | | 12 日 | 前期成績最終締切(幼・介)12時まで 実務者研修スクーリング① | 12 日 | | | |
| 13 火 | | 13 木 | | 13 日 | | 13 火 | | 13 金 | | 13 月 | | 13 月 | 喀痰吸引研修(予備①) | | |
| 14 水 | [午後:レントゲン撮影] 急遽中止 [web履修登録:17:00～切] 臨時休校(コロナ)5/14～16(3日間) 広報企画推進委員会(共通) | 14 金 | [健康診断:レントゲン撮影(看護)午後] 臨時休校(コロナ)5/14～16(3日間) 学科会(幼・介) 教育課程・入試・広報企画推進委員会 | 14 月 | | 14 水 | 教務委員会 2限(大学) 実習委員会 4限(大学) | 介護福祉学科 就職相談会(午後) 学科会(幼・介) | 14 土 | | 14 火 | 実習委員会 4限(大学) | 14 火 | 実習委員会 4限(大学) 喀痰吸引研修(予備②) | |
| 15 木 | | 15 土 | [健康診断:レントゲン撮影 (幼・介)午後] | 15 火 | 実習委員会 4限(大学) | 15 木 | | 15 日 | 保護者懇談会(看護) | 15 水 | 教授会2限(看護) 地域交流委員会(共通) | 15 水 | 総合選抜Ⅰ期出願期間(幼・介)9/15～17 ホームカンパニー(介)17年前 教授会・拡大教授会、学科会(看護) 地域交流委員会 | | |
| 16 金 | | 16 日 | | 16 水 | 教授会2限 新カリPJ 4限(大学) 地域交流委員会(共通) | 16 金 | 教授会・拡大教授会 学科会(看護) 地域交流委員会 | 16 月 | | 16 木 | | 16 木 | 実務者研修スクーリング⑥ | | |
| 17 土 | | 17 月 | 健康と運動Ⅱ:レクゲーム(体験) (幼2)(午後) | 17 木 | 学生支援委員会(大学)4限 | 17 土 | | 17 火 | オープンキャンパス(短大) 喀痰吸引研修① | 17 金 | 実習委員会 4限(大学) | 17 金 | 保育実習Ⅰ(幼2)8/17～31 前期期末試験(介2)8/17～20 後期オリエンテーション(看護2) 実務者研修スクーリング⑦ | | |
| 18 日 | | 18 火 | | 18 金 | 実習委員会 3限(大学) | 18 日 | | 18 水 | 教授会2限 地域交流委員会(共通) 広報企画推進委員会(共通) | 18 土 | 教授会・拡大教授会 学科会(看護) 地域交流・広報企画推進委員会 | 18 土 | | | |
| 19 月 | | 19 水 | 新カリPJ 1限(大学) 教授会(短大)2限 地域交流委員会(共通) | 19 土 | 教授会・拡大教授会 学科会(看護) 入試・地域交流委員会 | 19 月 | 平常授業開始 | 19 木 | | 19 日 | 実務者研修スクーリング② | 19 日 | | | |
| 20 火 | | 20 木 | | 20 日 | | 20 火 | 実習委員会 4限(大学) | 20 金 | | 20 月 | 後半オリエンテーション(看護3) ホームカンパニー(看護)(午後) 喀痰吸引研修④ | 20 月 | 敬老の日 | | |
| 21 水 | [web履修登録:17:00～切] 教授会(短大)13:00～ 学生支援委員会(大学)17:00～ 研究支援委員会(短大)&大学図書委員会 合同会議 12:20～ | 21 金 | 教授会・拡大教授会 学科会(看護) 学生支援・FD・地域交流・研究支援委員会 | 21 月 | | 21 水 | 教授会2限 地域交流委員会(共通) | 21 土 | 教授会・拡大教授会 学科会(看護) FD・地域交流委員会 | 21 火 | | 21 火 | 後期授業開始(看護2) | | |
| 22 木 | | 22 土 | | 22 火 | 入試委員会 10:00～(大学) | 22 木 | | 22 日 | 海の日 | 22 水 | | 22 水 | 学科会(幼・介) 学生支援・FD・研究支援委員会 | | |
| 23 金 | 新カリPJ 1限(大学) | 23 日 | | 23 水 | 研究倫理委員会 2限(大学) | 23 金 | | 23 月 | スポーツの日 | 23 木 | 前期定期試験 8/23～27 | 23 木 | 看護学各論実習(後半)(看護3) 8/23～12/10 喀痰吸引研修⑤ | 23 木 | 秋分の日 |
| 24 土 | | 24 月 | 学校再開 | 24 木 | 学校再開 | 24 土 | | 24 火 | 入試委員会 10:00～(大学) | 24 金 | | 24 金 | 後期オリエンテーション(幼) | | |
| 25 日 | | 25 火 | 入試委員会 10:00～(大学) | 25 金 | 基礎Ⅰ実習オリエンテーション | 25 日 | | 25 水 | 研究倫理委員会 2限(大学) | 25 土 | 学科会(幼・介) 学生支援・研究支援委員会 | 25 土 | 総合選抜Ⅰ期入試(幼・介) (AM入校禁止) | | |
| 26 月 | 臨時:学生支援委員会(大学)4限 | 26 水 | 実習施設説明会15～17:00 | 26 土 | オープンキャンパス(大学) | 26 月 | | 26 木 | | 26 日 | 前期成績最終締切(看護1)12時まで 実務者研修スクーリング⑧ | 26 日 | | | |
| 27 火 | 入試委員会 10:00～(大学) 地域交流委員会(共通)4限 自己点検・評価委員会(大学)3限 | 27 木 | | 27 日 | | 27 火 | 入試委員会 10:00～(大学) | 27 金 | | 27 月 | 午前:後期オリエンテーション [web履修登録]後期授業開始 | 27 月 | 介護基礎実習(介1)9/27～10/2 後期授業開始(幼) 後期オリエンテーション(看護1) | | |
| 28 水 | 教務委員会 2限(大学) 実習委員会 3限(大学) | 28 金 | フレッシュマン交流会(介) 学科会(幼・介) | 28 月 | | 28 水 | 広報企画推進委員会(共通) 研究倫理委員会 2限(大学) | 28 土 | 学科会(幼・介) 学生支援・研究支援・広報企画推進委員会 | 28 日 | | 28 火 | 入試委員会 10:00～(大学) | | |
| 29 木 | 昭和の日 | 29 土 | | 29 火 | 教員懇談会(幼)(予定) | 29 木 | | 29 日 | | 29 水 | | 29 水 | 研究倫理委員会 2限(大学) | | |
| 30 金 | | 30 日 | | 30 水 | 新カリPJ 3限(大学) | 30 金 | | 30 月 | 前期期末試験(介1)7/30～8/11 | 30 木 | | 30 木 | 介護総合実習(介2)8/30～9/30 | | |
| 31 日 | | 31 月 | | 31 土 | | 31 日 | | 31 火 | | 31 月 | 喀痰吸引研修⑧筆記試験 午前中 | 31 日 | | | |

令和3 (2021)年度 年間行事予定表 <松本看護大学・松本短期大学>

後期

| 10 月 | | 11 月 | | 12 月 | | 1 月 | | 2 月 | | 3 月 | |
|--------|---|--------|--|--------|---|--------|----------------|--------|--|--------|----------------------------------|
| 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 | 松本看護大学 | 松本短期大学 |
| 1 金 | | 1 月 | 指定校推薦選抜・総合型選抜・社会人選抜 募集期間 11/1~9 | 1 水 | 指定校推薦選抜・社会人選抜 合格発表 11/1~9 FD委員会 3限(大学) | 1 土 | 元日 | 1 火 | FD委員会 3限(大学) | 1 火 | FD委員会 3限(大学) |
| 2 土 | 公開講座② 未定 | 2 火 | FD委員会 3限(大学) | 2 木 | 指定校推薦選抜・社会人選抜 入学手続 12/2~10 図書委員会 2限(大学) 自己点検・評価委員会 3限(大学) | 2 日 | | 2 水 | 大学紀要委員会 2限(大学) 学生支援委員会 4限(大学) | 2 水 | 大学紀要委員会 2限(大学) 学生支援委員会 4限(大学) |
| 3 日 | | 3 水 | 文化の日 | 3 金 | 臨時試験日 | 3 月 | | 3 木 | AM:インベントリー(実習室の報酬) 図書委員会 2限(大学) 自己点検・評価委員会 3限(大学) | 3 木 | 自己点検・評価委員会 3限(大学) |
| 4 月 | [web履修登録 12:00~切] | 4 木 | 後期オリテ・後期授業開始(介2) 総合型選抜Ⅱ期出願期間(幼・介) 10/4~14 | 4 土 | 総合型選抜Ⅰ期入学手続(幼・介) 11/4~10 教育実習(幼1)11/4~17 | 4 火 | | 4 金 | | 4 金 | 後期成績最終切17:00まで |
| 5 火 | FD委員会 3限(大学) | 5 金 | | 5 日 | | 5 水 | | 5 土 | | 5 土 | 二期一般選抜入試(大学) |
| 6 水 | 大学紀要委員会 2限(大学) 学生支援委員会 4限(大学) | 6 土 | 自己点検・評価委員会 3限(大学) | 6 月 | | 6 木 | | 6 日 | | 6 日 | |
| 7 木 | 図書委員会 2限(大学) 自己点検・評価委員会 3限(大学) | 7 日 | | 7 火 | 臨時教授会(公募推薦 合格判定) FD委員会 3限(大学) | 7 金 | | 7 月 | | 7 月 | |
| 8 金 | | 8 月 | おとぎ祭(準備・前夜祭)(予定) | 8 水 | 教務委員会 2限(大学) 実習委員会 4限(大学) | 8 土 | | 8 火 | | 8 火 | |
| 9 土 | | 9 火 | おとぎ祭(1日目) ホームランブッチャー(幼) | 9 木 | 臨時試験日 | 9 日 | | 9 水 | | 9 水 | |
| 10 日 | | 10 水 | おとぎ祭(2日目) | 10 金 | 公募推薦選抜 合格発表 | 10 月 | 成人の日 | 10 木 | | 10 木 | |
| 11 月 | | 11 木 | おとぎ祭(片付け(幼・介:AM休講)) | 11 土 | 公募推薦選抜 入学手続 12/11~22 | 11 火 | | 11 金 | | 11 金 | |
| 12 火 | | 12 金 | | 12 日 | | 12 水 | | 12 土 | | 12 土 | |
| 13 水 | 広報企画推進委員会(共通) 教務委員会 2限(大学) 実習委員会 4限(大学) | 13 土 | 指定校推薦選抜・総合型選抜・社会人選抜入試(大学) | 13 月 | | 13 木 | | 13 日 | | 13 日 | |
| 14 木 | | 14 日 | | 14 火 | 実習委員会 4限(大学) | 14 金 | | 14 月 | | 14 月 | |
| 15 金 | | 15 月 | | 15 水 | 公募推薦選抜 募集期間 11/15~29 教務委員会 2限(大学) 実習委員会 4限(大学) 広報企画推進委員会(共通) | 15 土 | 大学入学共通テスト(本試験) | 15 火 | 実習委員会 4限(大学) | 15 火 | 実習委員会 4限(大学) |
| 16 土 | | 16 火 | | 16 木 | | 16 日 | 大学入学共通テスト(本試験) | 16 水 | | 16 水 | |
| 17 日 | | 17 水 | | 17 金 | | 17 月 | | 17 木 | | 17 木 | |
| 18 月 | | 18 木 | | 18 土 | | 18 火 | | 18 金 | | 18 金 | |
| 19 火 | 実習委員会 4限(大学) | 19 金 | | 19 日 | | 19 水 | | 19 土 | | 19 土 | |
| 20 水 | 教授会2限 地域交流委員会(共通) | 20 土 | 教授会(総合型選抜Ⅰ期入試判定(幼・介)含む) 拡大教授会 学科会(看) FD・地域交流・研究支援委員会 | 20 月 | | 20 木 | | 20 日 | | 20 日 | |
| 21 木 | | 21 日 | | 21 火 | | 21 金 | | 21 月 | | 21 月 | |
| 22 金 | | 22 月 | | 22 水 | | 22 土 | | 22 火 | | 22 火 | |
| 23 土 | | 23 火 | | 23 木 | | 23 日 | | 23 水 | | 23 水 | |
| 24 日 | | 24 水 | | 24 金 | | 24 月 | | 24 木 | | 24 木 | |
| 25 月 | | 25 木 | | 25 土 | | 25 火 | | 25 金 | | 25 金 | |
| 26 火 | 入試委員会 10:00~(大学) | 26 金 | | 26 日 | | 26 水 | | 26 土 | | 26 土 | |
| 27 水 | 研究倫理委員会 2限(大学) | 27 土 | | 27 月 | | 27 木 | | 27 日 | | 27 日 | |
| 28 木 | | 28 日 | | 28 火 | | 28 金 | | 28 月 | | 28 月 | |
| 29 金 | | 29 月 | | 29 水 | | 29 土 | | 29 日 | | 29 日 | |
| 30 土 | | 30 火 | | 30 木 | | 30 日 | | 30 水 | | 30 水 | |
| 31 日 | | 31 日 | | 31 金 | | 31 月 | | 31 木 | | 31 木 | |

令和3 (2021)年度 年間行事予定表 <松本看護大学・松本短期大学>

令和3年度

松本短大幼稚園 職員名簿

令和3年4月1日 現在

| No. | 職名 | 氏名 | | | 担当 |
|-----|------------------------|-------|--|--|---------------------|
| 1 | 園長 | 銭坂久紀 | | | 理事長・園長 |
| 2 | 園長代行 | 高山知佳 | | | 園長代行・教育補助 |
| 3 | 副園長 兼保育教諭 | 鳥羽壽々子 | | | 0～2保育統括 未満児フリー |
| 4 | 主任保育教諭 (幼稚園) | 米窪あや子 | | | 満3歳児 未就園児ほか |
| 5 | 主任保育教諭 (保育園) | 安坂美代子 | | | 未就園児ほか |
| 6 | 副主任保育教諭 (幼稚園) | 児玉麻美 | | | 年長：さくら |
| 7 | 副主任保育教諭 (保育園) | 森下恵美 | | | 0・1歳児 |
| 8 | 保育教諭 職務分野別リーダー | 上條由香子 | | | 年少：ばら |
| 9 | 保育教諭 職務分野別リーダー | 平林愛夏 | | | 年中：ゆり |
| 10 | 保育教諭 職務分野別リーダー | 古畑菜穂 | | | 2歳児 |
| 11 | 保育教諭 職務分野別リーダー | 渡邊千裕 | | | 0・1歳児 |
| 12 | 保育教諭 | 高橋美涼 | | | 年長：ふじ |
| 13 | 保育教諭 | 竹原聖奈 | | | 0・1歳児 |
| 14 | 保育教諭 | 古本まみ | | | 年少：すみれ |
| 15 | 保育教諭 | 堀内樹里 | | | 2歳児 |
| 16 | 保育教諭 | 宮坂桃夏 | | | 年中：すずらん |
| 17 | 保育教諭 | 宮澤りお | | | 0・1歳児 |
| 18 | 嘱託職員 保育士 職務分野別リーダー | 高山小百合 | | | 0・1歳児 |
| 19 | 嘱託職員 保育教諭 職務分野別リーダー | 南澤みゆき | | | 2歳児 |
| 20 | 嘱託職員 保育教諭 職務分野別リーダー | 樋口由佳代 | | | 年少：ひまわり |
| 21 | 非常勤講師 (幼稚園教諭) | 斉藤裕見子 | | | 以上児フリー |
| 22 | 非常勤講師 (保育士) | 矢花康子 | | | 未満児フリー |
| 23 | 非常勤講師 (保育士) | 原好美 | | | スクールバス乗車 |
| 24 | 非常勤講師 (保育教諭) | 村口亜紀子 | | | 未就園児教室補助 |
| 25 | 非常勤講師 | 柳澤秋孝 | | | 体育指導 |
| 26 | 事務長 | 玉井和宏 | | | 幼稚園事務全般 法人事務局長兼務 |
| 27 | 嘱託職員 事務兼バス運転手 | 高橋富二 | | | スクールバス運転ほか |
| 28 | 嘱託職員 事務兼バス運転手 | 太谷桂 | | | スクールバス運転ほか |

〒399-0025 松本市寿台7-4-1 松本短大幼稚園

TEL: 0263-58-6563 FAX: 0263-58-6593 E-mail: matsutanyo@matsuta

mobile: 080-2263-5356 (1号車) ・ 080-8589-3489 (2号車)

令和3年度 松本短大幼稚園 保育園部年間計画表

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|----|-------------------------|--------------------|------------|------------|--------------------|--------------------|------------|----------------------|--------------------|--------------------|---------------------|---------------|----|
| 1 | 木 新年度特別希望保育 継続児 | 土 希望保育 | 火 | 木 | 日 | 水 ●防災訓練 保護者引渡訓練 | 金 | 月 やきいも会 | 水 | 土 元旦 | 火 豆まき会 | 火 | 1 |
| 2 | 金 ●新入園児入園式 新年度特別希望保育 | 日 | 水 | 金 | 月 | 木 | 土 希望保育 | 火 | 木 | 日 | 水 | 水 | 2 |
| 3 | 土 継続児希望保育 | 月 憲法記念日 | 木 | 土 希望保育 | 火 | 金 | 日 | 水 文化の日 | 金 | 月 年始休み | 木 | 木 | 3 |
| 4 | 日 | 火 みどりの日 | 金 | 日 | 水 | 土 希望保育 | 月 | 木 内科健診② | 土 希望保育 | 火 年始特別希望保育 | 金 | 金 | 4 |
| 5 | 月 通常保育開始 新入児慣らし保育 | 水 こどもの日 | 土 希望保育 | 月 | 木 | 日 | 火 | 金 | 日 | 水 | 土 希望保育 | 土 希望保育 | 5 |
| 6 | 火 通常保育 新入児慣らし保育 | 木 玄関訪問5 | 日 | 火 | 金 | 月 | 水 | 土 希望保育 | 月 | 木 | 日 | 日 | 6 |
| 7 | 水 通常保育 新入児慣らし保育 | 金 玄関訪問6 | 月 | 水 | 土 希望保育 | 火 | 木 | 日 | 火 | 金 | 月 | 月 | 7 |
| 8 | 木 通常保育 新入児慣らし保育 | 土 希望保育 | 火 | 木 | 日 山の日 | 水 | 金 | 月 避難訓練 | 水 | 土 希望保育 | 火 | 火 運動遊び | 8 |
| 9 | 金 通常保育 新入児慣らし保育 | 日 | 水 | 金 | 月 振替休日 | 木 | 土 希望保育 | 火 | 木 | 日 | 水 | 水 | 9 |
| 10 | 土 継続児希望保育 | 月 玄関訪問7 | 木 | 土 希望保育 | 火 | 金 | 日 | 水 | 金 | 月 成人の日 | 木 | 木 | 10 |
| 11 | 日 | 火 | 金 | 日 | 水 | 土 希望保育 | 月 | 木 | 土 希望保育 | 火 | 金 建国記念の日 | 金 | 11 |
| 12 | 月 | 水 | 土 希望保育 | 月 | 木 | 日 | 火 | 金 | 日 | 水 | 土 希望保育 | 土 希望保育 | 12 |
| 13 | 火 | 木 | 日 | 火 | 金 お盆特別希望保育 | 月 | 水 | 土 希望保育 | 月 | 木 | 日 | 日 | 13 |
| 14 | 水 | 金 | 月 発育測定 | 水 | 土 お盆特別希望保育 | 火 | 木 歯科健診② | 日 | 火 | 金 | 月 | 月 | 14 |
| 15 | 木 | 土 希望保育 | 火 | 木 | 日 | 水 | 金 | 月 | 水 | 土 希望保育 | 火 | 火 発育測定 | 15 |
| 16 | 金 | 日 | 水 | 金 | 月 お盆特別希望保育 | 木 | 土 希望保育 | 火 | 木 | 日 | 水 | 水 保育料引き落とし | 16 |
| 17 | 土 希望保育 | 月 発育測定 | 木 プール開き | 土 希望保育 | 火 | 金 発育測定 | 日 | 水 | 金 保育園部 クリスマス会 | 月 発育測定 | 木 | 木 | 17 |
| 18 | 日 | 火 | 金 避難訓練 | 日 | 水 発育測定 | 土 希望保育 | 月 発育測定 | 木 | 土 希望保育 | 火 | 金 ●保育園部 大きくなったね会 | 金 誕生会 | 18 |
| 19 | 月 | 水 | 土 希望保育 | 月 発育測定 | 木 | 日 | 火 | 金 個別懇談会1 発育測定 | 日 | 水 | 土 希望保育 | 土 希望保育 | 19 |
| 20 | 火 | 木 歯科健診① | 日 | 火 | 金 | 月 敬老の日 | 水 | 土 希望保育 | 月 発育測定 | 木 ●懇談会参観日 | 日 | 日 | 20 |
| 21 | 水 運動遊び | 金 運動遊び | 月 運動遊び | 水 運動遊び | 土 希望保育 | 火 避難訓練 | 木 | 日 | 火 保育料引き落とし 運動遊び | 金 運動遊び | 月 発育測定 | 月 春分の日 | 21 |
| 22 | 木 発育測定 | 土 希望保育 | 火 | 木 海の日 | 日 | 水 運動遊び | 金 運動遊び | 月 個別懇談会2 運動遊び | 水 | 土 希望保育 | 火 運動遊び | 火 避難訓練 | 22 |
| 23 | 金 玄関訪問1 保育料引き落とし | 日 | 水 | 金 スポーツの日 | 月 | 木 秋分の日 | 土 希望保育 | 火 労労感謝の日 | 木 餅つき会見学 | 日 | 水 天皇誕生日 | 水 | 23 |
| 24 | 土 希望保育 | 月 避難訓練 保育料引き落とし | 木 保育料引き落とし | 土 希望保育 | 火 避難訓練 保育料引き落とし | 金 誕生会 | 日 | 水 個別懇談会3 | 金 誕生会 | 月 | 木 避難訓練 保育料引き落とし | 木 | 24 |
| 25 | 日 | 火 | 金 誕生会 | 日 | 水 運動遊び | 土 希望保育 | 月 保育料引き落とし | 木 個別懇談会4 保育料引き落とし | 土 希望保育 | 火 避難訓練 保育料引き落とし | 金 誕生会 | 金 保育園部 終業式 | 25 |
| 26 | 月 玄関訪問2 | 水 ●懇談会参観日 | 土 希望保育 | 月 保育料引き落とし | 木 | 日 | 火 避難訓練 | 金 個別懇談会5 誕生会 | 日 | 水 | 土 希望保育 | 土 希望保育 | 26 |
| 27 | 火 誕生会 | 木 内科健診① | 日 | 火 避難訓練 | 金 誕生会 | 月 保育料引き落とし | 水 | 土 希望保育 | 月 避難訓練 | 木 | 日 | 日 | 27 |
| 28 | 水 玄関訪問3 | 金 誕生会 | 月 | 水 | 土 希望保育 | 火 ●保育園部 運動会(順延) | 木 | 日 | 火 | 金 誕生会 | 月 | 月 年度末特別希望保育 | 28 |
| 29 | 木 昭和の日 | 土 希望保育 | 火 | 木 | 日 | 水 | 金 誕生会 | 月 個別懇談会6 | 水 年末休み | 土 希望保育 | / | 火 年度末特別希望保育 | 29 |
| 30 | 金 玄関訪問4 | 日 | 水 | 金 誕生会 | 月 | 木 | 土 希望保育 | 火 個別懇談会7 | 木 / | 日 | / | 水 年度末特別希望保育 | 30 |
| 31 | / | 月 | / | 土 希望保育 | 火 プール納め | / | 日 | / | 金 / | 月 | / | 水 年度末特別希望保育 | 31 |

令和3年度 松本短大幼稚園年間計画表

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|----|----------------------------|----------------------|-------------------------|-------------------|-----------------------------|---------------------|---------------------|------------------------|-----------------|-----------------------|------------------------|---------------------------------|----|
| 1 | 木 2号特別保育 | 土 | 火 英語教室 | 木 | 日 | 水 防災訓練 保護者引渡訓練 | 金 | 月 やきいも会 | 水 課外運動遊び | 土 元日 | 火 学級懇談会・年中・年長 豆まき集会 | 火 英語教室 | 1 |
| 2 | 金 入園式 2号特別保育 | 日 | 水 ひよこ組体験 発育測定4 尿2次検 | 金 課外運動遊び | 月 預かり保育 | 木 | 土 運動会 | 火 | 木 山雅触れ合い | 日 | 水 山雅触れ合い 課外運動遊び | 水 誕生会 課外運動遊び | 2 |
| 3 | 土 | 月 憲法記念日 | 木 発育測定3 | 土 土曜参観日 | 火 預かり保育 | 金 誕生会 | 日 | 水 文化の日 | 金 誕生会 発育測定5 | 月 | 木 学級懇談会 年少 | 木 保護者会総会(午後) | 3 |
| 4 | 日 | 火 みどりの日 | 金 発育測定5 | 日 | 水 預かり保育 | 土 初任研松本勤 労福祉センター | 月 運動会振替休日 2号特別保育 | 木 | 土 発育測定4 運動遊び | 火 2号特別保育 | 金 誕生会 | 金 ひよこ組説明会・連職 | 4 |
| 5 | 月 始業式 給食開始 | 水 こどもの日 | 土 | 月 振替休日 2号特別保育 | 木 預かり保育 | 日 | 火 英語教室 入園説明会 | 金 課外運動遊び | 日 | 水 預かり保育 | 土 | 土 | 5 |
| 6 | 火 | 木 交通安全教室 家庭訪問5(玄) | 日 | 火 英語教室 ひよこ組体験 | 金 預かり保育 | 月 | 水 山雅触れ合い 課外運動遊び | 土 | 月 発育測定4 運動遊び | 木 預かり保育 | 日 | 日 | 6 |
| 7 | 水 学級懇談会 年中・年長組 | 金 保護者総会 家庭訪問6(玄) | 月 教育実習～18日 | 水 山雅触れ合い | 土 | 火 英語教室 ひよこ組開 | 木 ひよこ組(歯科) | 日 | 火 ひよこ組 英語教室 | 金 預かり保育 | 月 発育測定4 運動遊び | 月 お別れ会 | 7 |
| 8 | 木 学級懇談会 年少組 | 土 | 火 英語教室 ひよこ組 | 木 運動遊び | 日 山の日 | 水 課外運動遊び | 金 遠足 | 月 避難訓練 | 水 | 土 | 火 英語教室 ひよこ組 | 火 英語教室 | 8 |
| 9 | 金 | 日 | 水 山雅触れ合い 元気っ子 | 金 | 月 振替休日 | 木 林業センター年長 | 土 | 火 ひよこ組 英語教室 | 木 発育測定3 運動遊び | 日 | 水 発育測定5 | 水 運動遊び | 9 |
| 10 | 土 | 月 | 木 人形劇鑑賞 | 土 | 火 預かり保育 | 金 | 日 | 水 山雅触れ合い | 金 | 月 成人の日 | 木 発育測定3 | 木 | 10 |
| 11 | 日 | 火 英語教室 ひよこ組 | 金 | 日 | 水 預かり保育 | 土 | 月 | 木 | 土 | 火 始業式 | 金 建国記念の日 | 金 園舎清掃 | 11 |
| 12 | 月 | 水 山雅触れ合い 課外運動遊び | 土 | 月 | 木 預かり保育 | 日 | 火 英語教室 ひよこ運動会 | 金 | 日 | 水 山雅触れ合い 課外運動遊び | 土 | 土 | 12 |
| 13 | 火 ひよこ組 | 木 | 日 | 火 英語教室 ひよこ組 | 金 お盆2号特別保育 | 月 | 水 | 土 秋季公開講座 (長野) | 月 | 木 | 日 | 日 | 13 |
| 14 | 水 課外運動遊び | 金 | 月 | 水 課外運動遊び | 土 | 火 ひよこ組 英語教室 | 木 | 日 | 火 クリスマス会練習 | 金 卒園記念写真 一日入園 | 月 | 月 | 14 |
| 15 | 木 運動遊び | 土 | 火 英語教室 ひよこ組 | 木 | 日 | 水 山雅触れ合い | 金 | 月 消防署見学 年中組 | 水 課外運動遊び | 土 | 火 英語教室 | 火 終業式 | 15 |
| 16 | 金 誕生会 | 日 | 水 運動遊び 課外運動遊び | 金 誕生会 | 月 お盆2号特別保育 | 木 | 土 | 火 英語教室 | 木 | 日 | 水 課外運動遊び | 水 卒園式 引き落とし日 | 16 |
| 17 | 土 | 月 運動遊び | 木 フール開き 運動遊び | 土 | 火 預かり保育 | 金 | 日 | 水 課外運動遊び | 金 クリスマス会 | 月 | 木 | 木 残務整理 預かり保育 | 17 |
| 18 | 日 | 火 英語教室 ひよこ組開 | 金 避難訓練 | 日 | 水 二学期準備 預かり保育 | 土 | 月 運動遊び | 木 運動遊び | 土 | 火 ひよこ組 英語教室 | 金 ひな祭り会 | 金 残務整理 預かり保育 | 18 |
| 19 | 月 | 水 | 土 | 月 終業式 | 木 始業式 | 日 | 火 英語教室 | 金 | 日 | 水 | 土 | 土 | 19 |
| 20 | 火 英語教室 ひよこ組 | 木 歯科検診 | 日 | 火 夏休み お泊り保育 | 金 | 月 敬老の日 | 水 歯科指導 課外運動遊び | 土 | 月 | 木 運動遊び | 日 | 日 | 20 |
| 21 | 水 | 金 | 月 教育実習～7/2日 学級懇談会年少組 | 水 お泊り保育 | 土 | 火 | 木 運動遊び職員研修 発育測定5 | 日 | 火 引き落とし日 | 金 | 月 | 月 春分の日 | 21 |
| 22 | 木 | 土 | 火 学級懇談会 年中・年長組 | 木 海の日 | 日 | 水 課外運動遊び | 金 誕生会 | 月 個別懇談会1 | 水 | 土 | 火 | 火 残務整理 預かり保育 | 22 |
| 23 | 金 発育測定4 引き落とし日 家庭訪問1(玄) | 日 | 水 課外運動遊び | 金 スポーツの日 | 月 運動遊び | 木 秋分の日 | 土 | 火 勤労感謝の日 | 木 餅つき体験 | 日 | 水 天皇誕生日 | 水 預かり保育 | 23 |
| 24 | 土 | 月 引き落とし日 | 木 引き落とし日 運動遊び、職員研修 | 土 | 火 英語教室ひよこ組開 発育測定5 引き落とし日 | 金 運動会練習日 | 日 | 水 個別懇談会2 | 金 | 月 | 木 引き落とし日 | 木 預かり保育 | 24 |
| 25 | 日 | 火 英語教室 ひよこ組 | 金 誕生会 | 日 | 水 発育測定4 山雅触れ合い | 土 | 月 発育側4 引き落とし日 | 木 個別懇談会3 引き落とし日 | 土 | 火 英語教室 ひよこ組 引き落とし日 | 金 | 金 保育園部終業式 預かり保育 | 25 |
| 26 | 月 家庭訪問2(玄) 発育測定5 | 水 尿検査 課外運動遊び | 土 | 月 預かり保育 引き落とし日 | 木 発育測定3 | 日 | 火 英語教室 ひよこ組開 | 金 誕生会 個別懇談会4 | 日 | 水 課外運動遊び | 土 | 土 | 26 |
| 27 | 火 英語教室 オンライン研修(職) | 木 内科検診 | 日 | 火 預かり保育 | 金 誕生会 課外運動遊び | 月 運動遊び 引き落とし日 | 水 発育測定3 | 土 秋季公開講座清間 温泉文化センター | 月 終業式 | 木 | 日 | 日 | 27 |
| 28 | 水 家庭訪問3(玄) 昭和の日 | 金 誕生会 | 月 | 水 預かり保育 | 土 | 火 英語教室 | 木 | 日 | 火 冬休み 預かり保育 | 金 誕生会 | 月 一日入園 | 月 2号特別保育 | 28 |
| 29 | 木 | 土 | 火 英語教室 ひよこ組開 | 木 預かり保育 | 日 | 水 | 金 | 月 個別懇談会5 | 水 | 土 | | 火 2号特別保育 | 29 |
| 30 | 金 家庭訪問4(玄) | 日 | 水 | 金 預かり保育 | 月 | 木 | 土 | 火 個別懇談会6 ひよこ組 英語教室 | 木 | 日 | | 水 2号特別保育 2号特別保育 職員研修(柳澤T) | 30 |
| 31 | | 月 | | 土 | 火 入園説明会 プール納め | | 日 | | 金 | 月 | | 木 | 31 |
| 備考 | | | | | | | | | | | | | |

過去5年間の収支の推移

(単位：千円)

| 資金収支計算書 | H29年度 | H30年度 | R01年度 | R02年度 | R03年度 | R02, R03差異 |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|------------|
| 学生生徒納付金収入 | 498,742 | 489,083 | 490,777 | 496,462 | 527,209 | 30,747 |
| 手数料収入 | 9,700 | 9,350 | 8,513 | 9,068 | 9,281 | 213 |
| 寄付金収入 | 0 | 5,400 | 1,500 | 809 | 500 | △ 309 |
| 補助金収入 | 100,938 | 101,572 | 267,326 | 522,621 | 224,842 | △ 297,779 |
| 付随事業収入 | 16,246 | 13,035 | 8,837 | 23,285 | 23,526 | 241 |
| 受取利息・配当金収入 | 898 | 1,587 | 878 | 281 | 153 | △ 128 |
| 雑収入 | 17,244 | 12,934 | 3,637 | 54,838 | 18,226 | △ 36,612 |
| 人件費支出 | 438,271 | 428,599 | 422,289 | 533,826 | 612,420 | 78,594 |
| 教育研究経費支出 | 77,703 | 78,471 | 75,618 | 110,135 | 134,708 | 24,573 |
| 管理経費支出 | 49,888 | 47,971 | 57,207 | 93,718 | 72,724 | △ 20,994 |
| 施設関係支出 | 1,110 | 3,332 | 308,597 | 587,014 | 32,248 | △ 554,766 |
| 設備関係支出 | 7,882 | 5,651 | 18,718 | 186,067 | 41,580 | △ 144,487 |
| 現金預金 (注) | 1,118,105 | 1,176,909 | 1,212,536 | 880,019 | 563,475 | △ 316,544 |
| 事業活動収支計算書 | H29年度 | H30年度 | R01年度 | R02年度 | R03年度 | R02, R03差異 |
| 事業活動収入計 | 643,789 | 633,037 | 635,877 | 1,107,437 | 803,969 | △ 303,468 |
| 事業活動支出計 | 653,182 | 637,885 | 640,252 | 877,335 | 933,970 | 56,635 |
| 人件費 | 441,113 | 428,499 | 425,443 | 572,839 | 616,344 | 43,505 |
| 教育研究経費 | 149,061 | 148,133 | 144,829 | 194,000 | 230,796 | 36,796 |
| 管理経費 | 62,470 | 60,895 | 69,980 | 107,367 | 85,889 | △ 21,478 |
| 基本金組入前収支差額 | △ 9,393 | △ 4,847 | 140,875 | 230,102 | △ 130,001 | △ 360,103 |
| 当年度収支差額 | △ 12,543 | △ 166,272 | △ 6,237 | △ 512,856 | △ 376,685 | 136,171 |
| 翌年度繰越収支差額 | △ 144,572 | △ 304,962 | △ 153,198 | △ 666,054 | △ 1,042,739 | △ 376,685 |

注 現金預金には、施設設備引当特定資産を含む。

財務比率比較表

| No. | 番号 | 比率名 | 算式 (×100) | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|-----------------------|-------------------|-------------------|---|---|--------------|--------|--------|
| | | | | 本法人 | 全国平均 短大法人 | 本法人 | |
| 貸 借 対 照 表 | 1 | 自己資金は充実されているか | 純資産構成比率 | $\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$ | 83.5% | 88.9% | 88.9% |
| | | | 繰越収支差額構成比率 | $\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$ | -19.5% | -19.6% | -34.1% |
| | | | 基本金比率 | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$ | 95.7% | 97.1% | 100.0% |
| | 2 | 長期資金で固定資産は賄われているか | 固定比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$ | 86.4% | 95.7% | 90.5% |
| | | | 固定長期適合率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$ | 76.5% | 89.6% | 85.2% |
| | 3 | 資産構成はどうか | 固定資産構成比率 | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$ | 72.1% | 85.1% | 80.5% |
| | | | 有形固定資産構成比率 | $\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$ | 72.0% | 59.7% | 78.5% |
| | | | 特定資産構成比率 | $\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$ | 0.0% | 20.2% | 1.1% |
| | | | 流動資産構成比率 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$ | 27.9% | 14.9% | 19.5% |
| | | | 減価償却比率 | $\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$ | 43.4% | 54.5% | 45.7% |
| 4 | 負債に備える資産が蓄積されているか | 内部留保資産比率 | $\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$ | 9.3% | 26.3% | 8.5% | |
| | | 運用資産余裕比率 | $\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$ | 0.8 | 1.8 | 0.6 | |
| | | 流動比率 | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$ | 487.6% | 294.0% | 349.6% | |
| | | 前受金保有率 | $\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$ | 562.2% | 537.8% | 365.7% | |
| | | 退職給与引当特定資産保有率 | $\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$ | 0.0% | 61.6% | 20.8% | |
| 5 | 負債の割合はどうか | 固定負債構成比率 | $\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$ | 10.8% | 6.0% | 5.5% | |
| | | 流動負債構成比率 | $\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$ | 5.7% | 5.1% | 5.6% | |
| | | 総負債比率 | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$ | 16.5% | 11.1% | 11.1% | |
| | | 負債比率 | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$ | 19.8% | 12.5% | 12.5% | |
| 6 | 運用資産の保有状況はどうか | 積立率 | $\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$ | 54.9% | 70.8% | 34.9% | |

| | No. | 番号 | 比 率 名 | 算式 (×100) | 令和2年度 | | 令和3年度 | |
|---------------------------------------|-----|-------------------|------------------------|---|--|--------------|--------|------|
| | | | | | 本法人 | 全国平均 短大法人 | 本法人 | |
| 事業 活 動 収 支 計 算 書 | 1 | 経営状況はどうか | 事業活動収支差額比率 | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$ | 20.8% | -0.5% | -16.2% | |
| | 2 | 収入構成はどうか | 学生生徒等納付金比率 | $\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$ | 61.7% | 57.9% | 65.9% | |
| | | | 寄付金比率 | $\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$ | 27.4% | 1.4% | 0.6% | |
| | | | 経常寄付金比率 | $\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$ | 0.1% | 1.1% | 0.1% | |
| | | | 補助金比率 | $\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$ | 47.2% | 31.9% | 28.0% | |
| | | | 経常補助金比率 | $\frac{\text{経常費等補助金}}{\text{経常収入}}$ | 27.3% | 31.0% | 27.6% | |
| | 3 | 支出構成は適切であるか | 人件費比率 | $\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$ | 71.2% | 61.9% | 77.1% | |
| | | | 教育研究経費比率 | $\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$ | 24.1% | 29.2% | 28.9% | |
| | | | 管理経費比率 | $\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$ | 13.3% | 10.3% | 10.7% | |
| | | | 借入金等利息比率 | $\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$ | 0.0% | 0.2% | 0.0% | |
| | | | 基本金組入率 | $\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$ | 67.1% | 10.9% | 30.7% | |
| | | | 減価償却額比率 | $\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$ | 11.1% | 11.4% | 11.7% | |
| | 4 | 収入と支出のバランスはとれているか | 人件費依存率 | $\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$ | 115.4% | 106.9% | 116.9% | |
| | | | 基本金組入後収支比率 | $\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$ | 240.7% | 112.8% | 167.6% | |
| | | | 経常収支差額比率 | $\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$ | -8.9% | -1.7% | -16.7% | |
| | | | 教育活動収支差額比率 | $\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$ | -8.7% | -3.5% | -16.7% | |
| | ※ | 1 | 教育活動でキャッシュフローが生み出せているか | 教育活動資金収支差額比率 | $\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$ | 5.2% | 7.0% | 1.6% |

※ 活動区分資金収支計算書